

まちづくりに関するアンケート調査結果について

寝屋川市では、今後の少子高齢化、人口減少が予測される中、コンパクトなまちづくりと地域交通ネットワークの連携により、持続可能な都市を実現するため、『寝屋川市立地適正化計画』を平成 29 年度末の策定に向けて取り組んでいるところです。

当該計画の策定に向けて、市民のみなさまのお住まいの状況や、外出時の移動手段、駅前などに必要となる施設、定住意向に関するお考えやご意見などを参考にさせていただくため、まちづくりに関するアンケート調査を実施いたしました。

アンケート調査については、寝屋川市内にお住まいの 18 歳以上の男女（平成 28 年 12 月 1 日現在）3,000 人を対象に、平成 29 年 1 月 30 日（月）から平成 29 年 2 月 21 日（火）の期間において実施し、計 1,470 件（回答率 49%）の回答をいただきました。

アンケートにご協力いただきました皆様にはこの場をお借りして、お礼申し上げます。

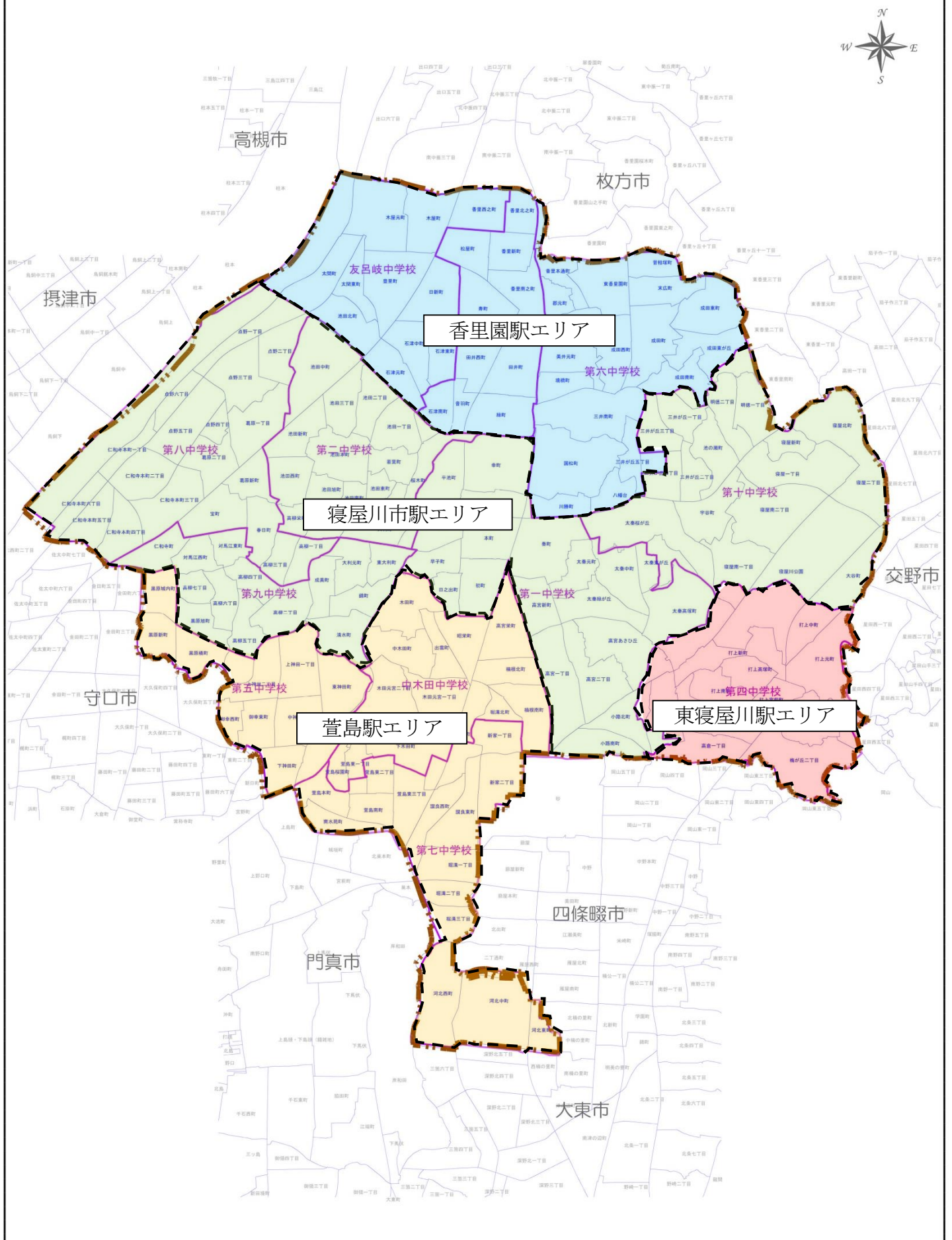
アンケート調査の結果をもとに、駅周辺等の状況を把握するため、各駅及びバスターミナル、商業施設などのあるエリア毎に集計を行った結果についてご報告いたします。

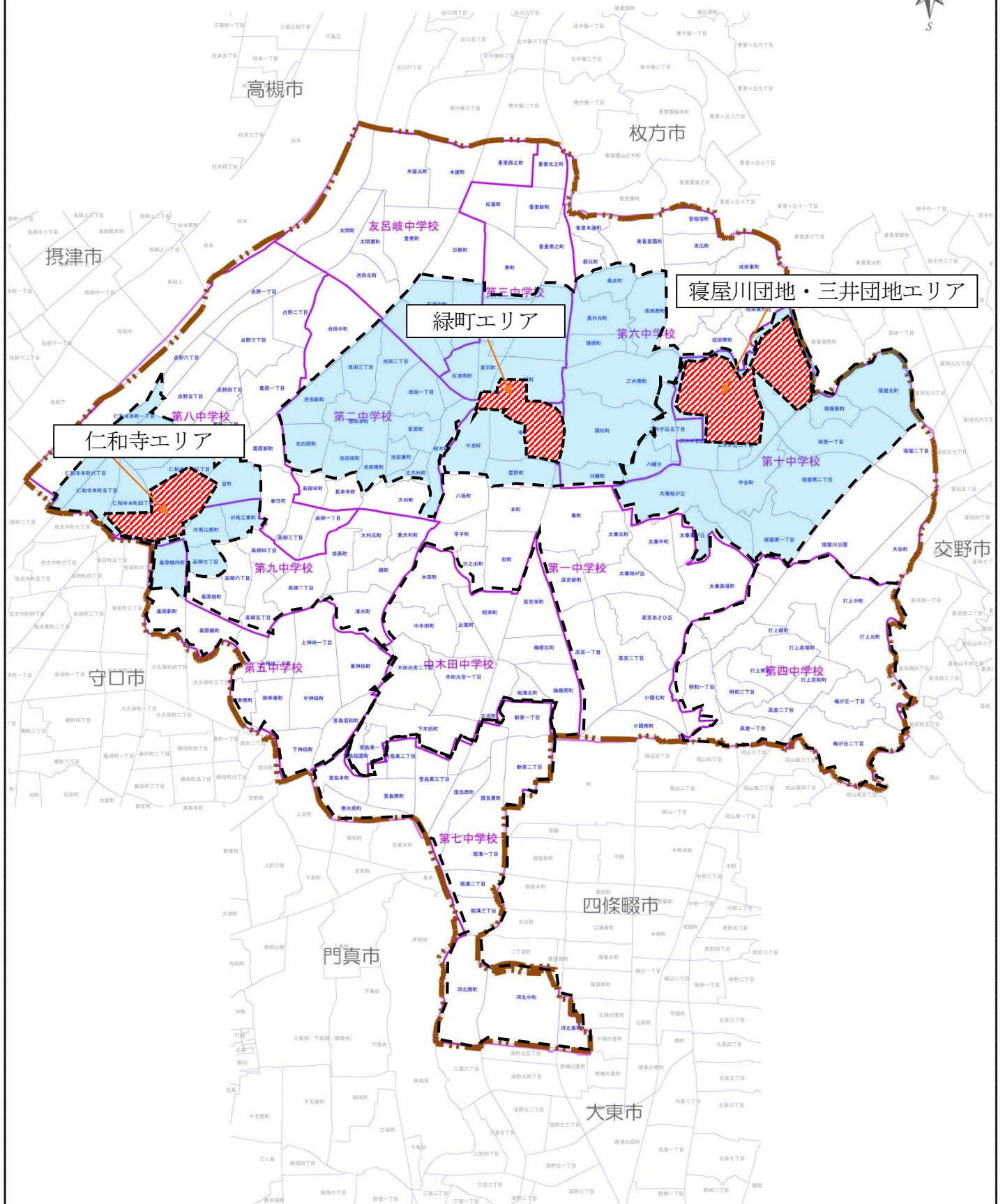
なお、当該エリアについては、町丁目ごとのデータを中学校区を参考にして、今回のアンケート用に独自に集計するためのエリア設定としています。このため、実際の利用駅等とは異なる場合があります。

エリア内の町丁目については、別表及び各エリア区分図 1 及び 2 のとおりです。

別表

別表エリア	エリア内の町丁目
香里園駅 エリア (P. 5)	香里北之町、香里新町、香里南之町、寿町、松屋町、石津南町、音羽町、田井町、田井西町、緑町、菅相塚町、香里本通町、郡元町、境橋町、末広町、成田町、成田西町、成田東町、成田東が丘、成田南町、東香里園町、美井町、美井元町、三井南町、川勝町、国松町、八幡台、三井が丘四丁目、三井が丘五丁目、池田北町、香里西之町、木屋町、木屋元町、大間町、大間東町、豊里町、石津中町、石津東町、石津元町、日新町
寝屋川市駅 エリア (P. 10)	太秦高塚町、太秦中町、太秦東が丘、太秦緑が丘、太秦元町、小路北町、小路南町、高宮新町、高宮あさひ丘、高宮一丁目、高宮二丁目、秦町、幸町、豊野町、初町、早子町、日之出町、平池町、本町、八坂町、池田一丁目、池田二丁目、池田三丁目、池田東町、池田本町、石津南町、大利町、北大利町、桜木町、若葉町、池田旭町、池田西町、池田南町、池田中町、高柳栄町、長栄寺町、春日町、葛原新町、高柳一丁目、高柳三丁目、宝町、葛原一丁目、葛原二丁目、点野一丁目、点野二丁目、点野三丁目、点野四丁目、点野五丁目、点野六丁目、仁和寺本町一丁目、仁和寺本町二丁目、仁和寺本町三丁目、仁和寺本町四丁目、仁和寺本町五丁目、仁和寺本町六丁目、大利元町、清水町、成美町、高柳二丁目、錦町、東大利町、黒原旭町、高柳四丁目、高柳五丁目、高柳六丁目、高柳七丁目、対馬江西町、対馬江東町、仁和寺町、池の瀬町、成田東が丘、成田南町、三井が丘一丁目、三井が丘二丁目、三井が丘三丁目、三井が丘四丁目、明德一丁目、明德二丁目、太秦桜が丘、宇谷町、大谷町、寝屋一丁目、寝屋二丁目、寝屋北町、寝屋新町、寝屋南一丁目、寝屋南二丁目、寝屋川公園
萱島駅 エリア (P. 15)	上神田一丁目、上神田二丁目、萱島信和町、下神田町、中神田町、東神田町、黒原橋町、黒原城内町、黒原新町、高柳五丁目、御幸西町、御幸東町、萱島東一丁目、萱島東二丁目、萱島東三丁目、萱島本町、萱島南町、讃良西町、讃良東町、下木田町、新家一丁目、新家二丁目、大成町、南水苑町、河北中町、河北西町、河北東町、堀溝一丁目、堀溝二丁目、堀溝三丁目、出雲町、萱島桜園町、木田町、木田元宮一丁目、木田元宮二丁目、昭栄町、中木田町、楠根北町、楠根南町、高宮栄町、堀溝北町
東寝屋川駅 エリア (P. 20)	打上新町、打上高塚町、打上中町、打上南町、打上宮前町、打上元町、高倉一丁目、高倉二丁目、明和一丁目、明和二丁目、梅が丘一丁目、梅が丘二丁目、太秦高塚町、小路北町、高宮あさひ丘、大谷町、寝屋南一丁目、寝屋川公園
緑町エリア (P. 24)	幸町、豊野町、平池町、秦町、池田一丁目、池田二丁目、池田三丁目、池田東町、北大利町、桜木町、若葉町、池田旭町、池田新町、池田西町、池田本町、池田南町、石津南町、音羽町、田井町、田井西町、緑町、境橋町、成田西町、美井町、美井元町、川勝町、国松町、三井南町、石津中町、石津東町、石津元町
仁和寺エリア (P. 29)	黒原城内町、高柳七丁目、対馬江西町、対馬江東町、仁和寺町、仁和寺本町一丁目、仁和寺本町二丁目、仁和寺本町三丁目、仁和寺本町四丁目、仁和寺本町五丁目、仁和寺本町六丁目、宝町
寝屋川団地・三井団地エリア (P. 34)	池の瀬町、成田東が丘、三井が丘一丁目、三井が丘二丁目、三井が丘三丁目、三井が丘四丁目、三井が丘五丁目、八幡台、明德一丁目、明德二丁目、太秦桜が丘、太秦東が丘、宇谷町、寝屋一丁目、寝屋北町、寝屋新町、寝屋南一丁目、寝屋南二丁目





香里園駅エリア

<エリアの概要>

- ・香里園駅エリアは、枚方市に隣接する寝屋川市の北部に位置し、駅西側は平坦地で商業店舗等が立地、老朽木造集合住宅等が密集し、駅東側は丘陵地で良好な住宅地が立地しています。

<エリアの特性>

- ・アンケートの結果から、エリア内の高齢者の回答割合が比較的高くなっています。また、持家の集合住宅の割合が比較的高くなっています。
- ・公共交通では鉄道の利用の割合が高く、次いで徒歩の割合が高くなっています。

図 年齢階層別の人口構成

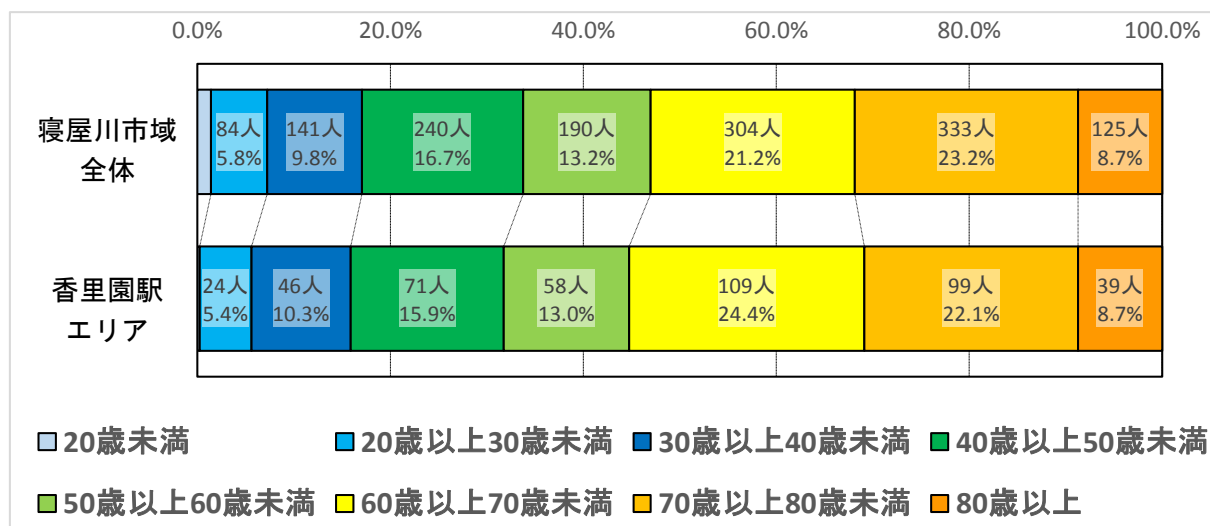


図 住宅の所有関係・型

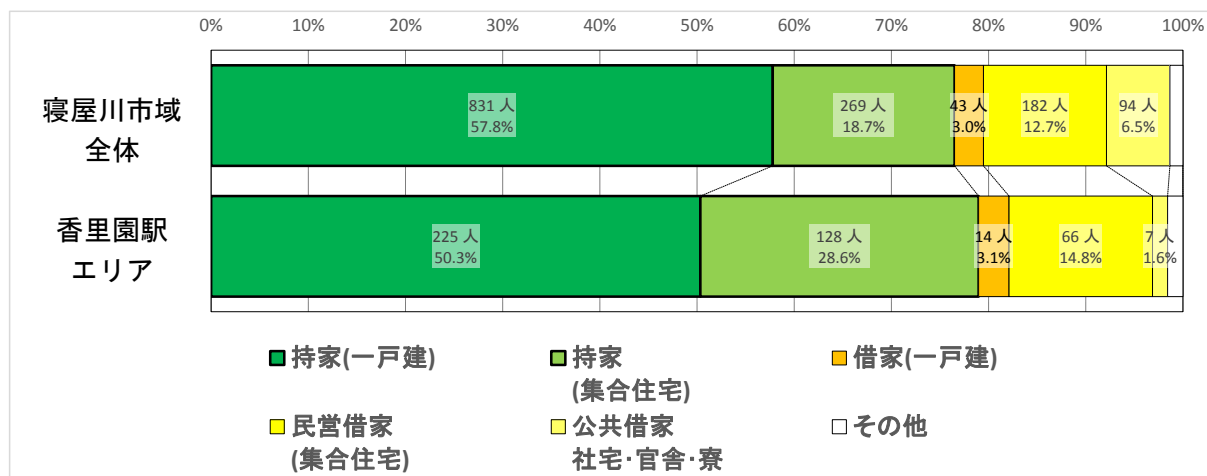
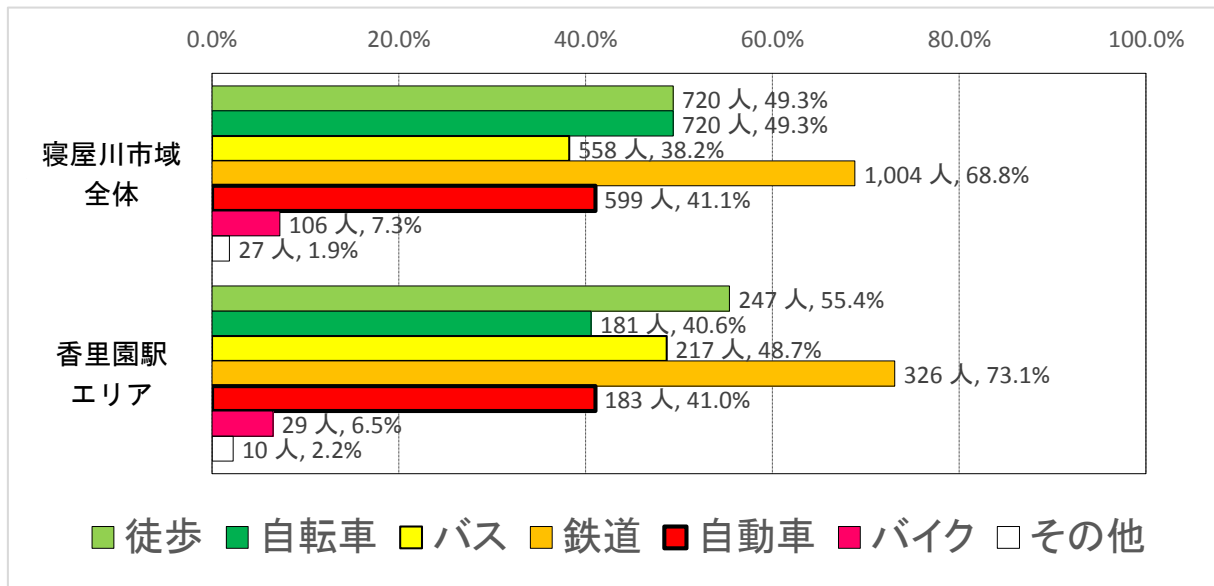


図 住民方々の移動手段



<エリア内の利用施設と満足度>

- ・香里園駅前に複数診療科を備えた病院が立地することなどから、お住まいの周辺および香里園駅周辺の病院の利用割合が高く、満足度も高くなっています。
- ・香里園駅周辺には、スーパーや商店街などの商業施設が立地、集積しており、お住まいの周辺及び香里園駅周辺の利用割合が高く、満足度も高くなっています。
- ・子育て支援施設は、お住まいの周辺の利用割合が高くなっています。

図 利用する病院の場所

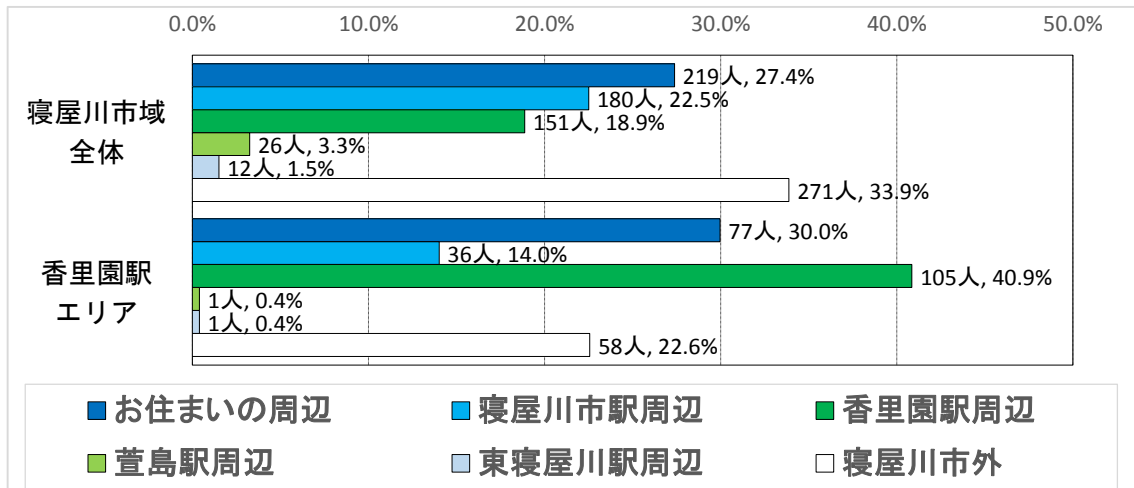


図 住まい周辺の医療施設の満足度

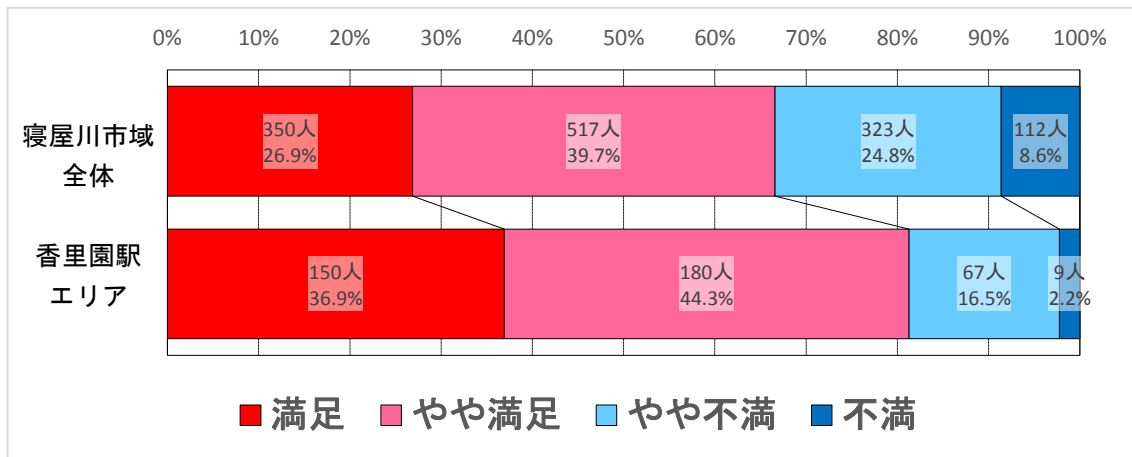


図 利用する複合商業施設の場所

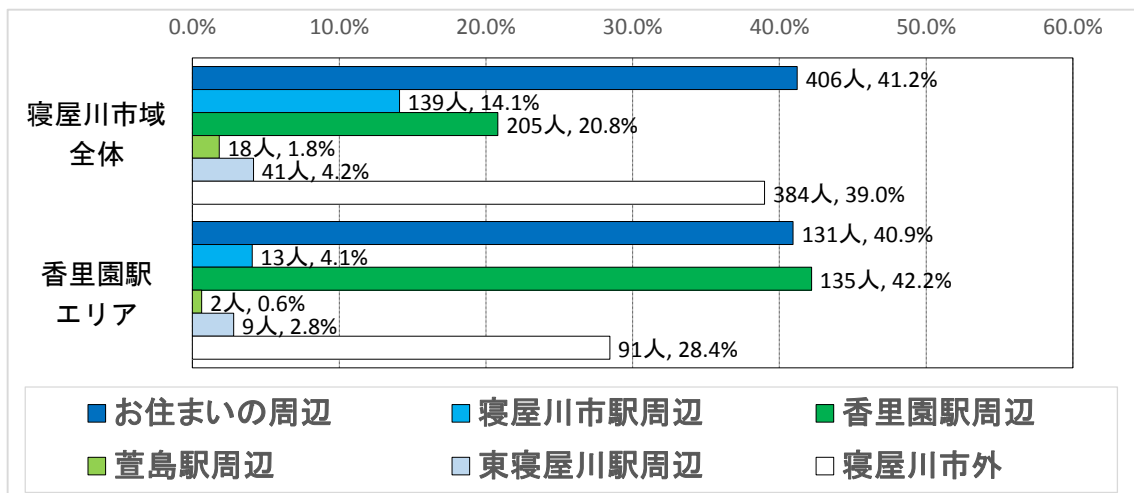


図 住まい周辺の商業施設等の満足度

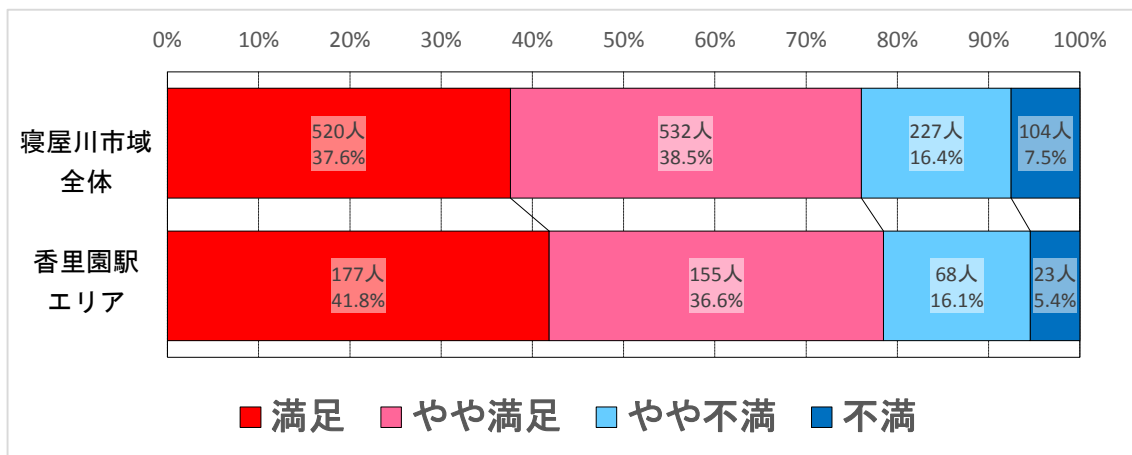
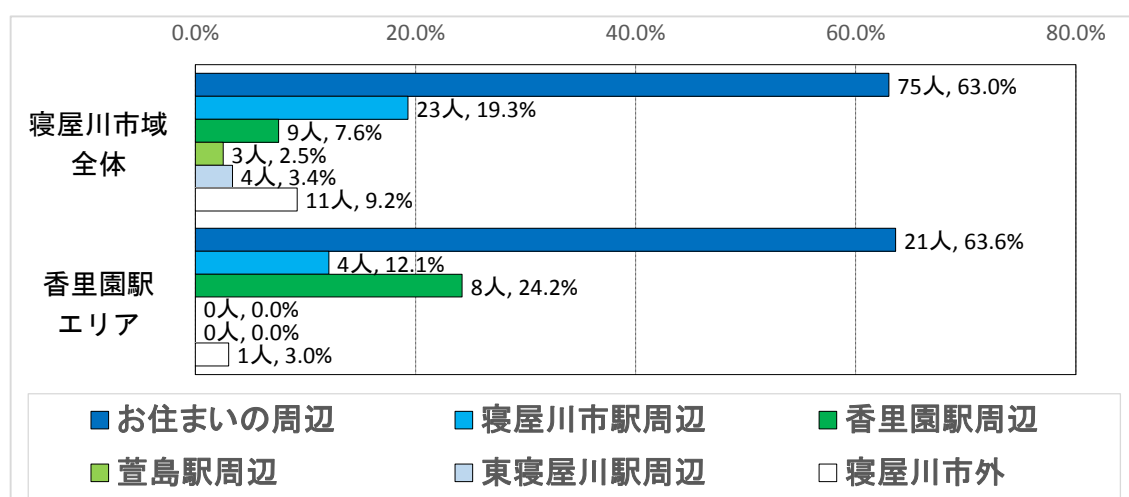


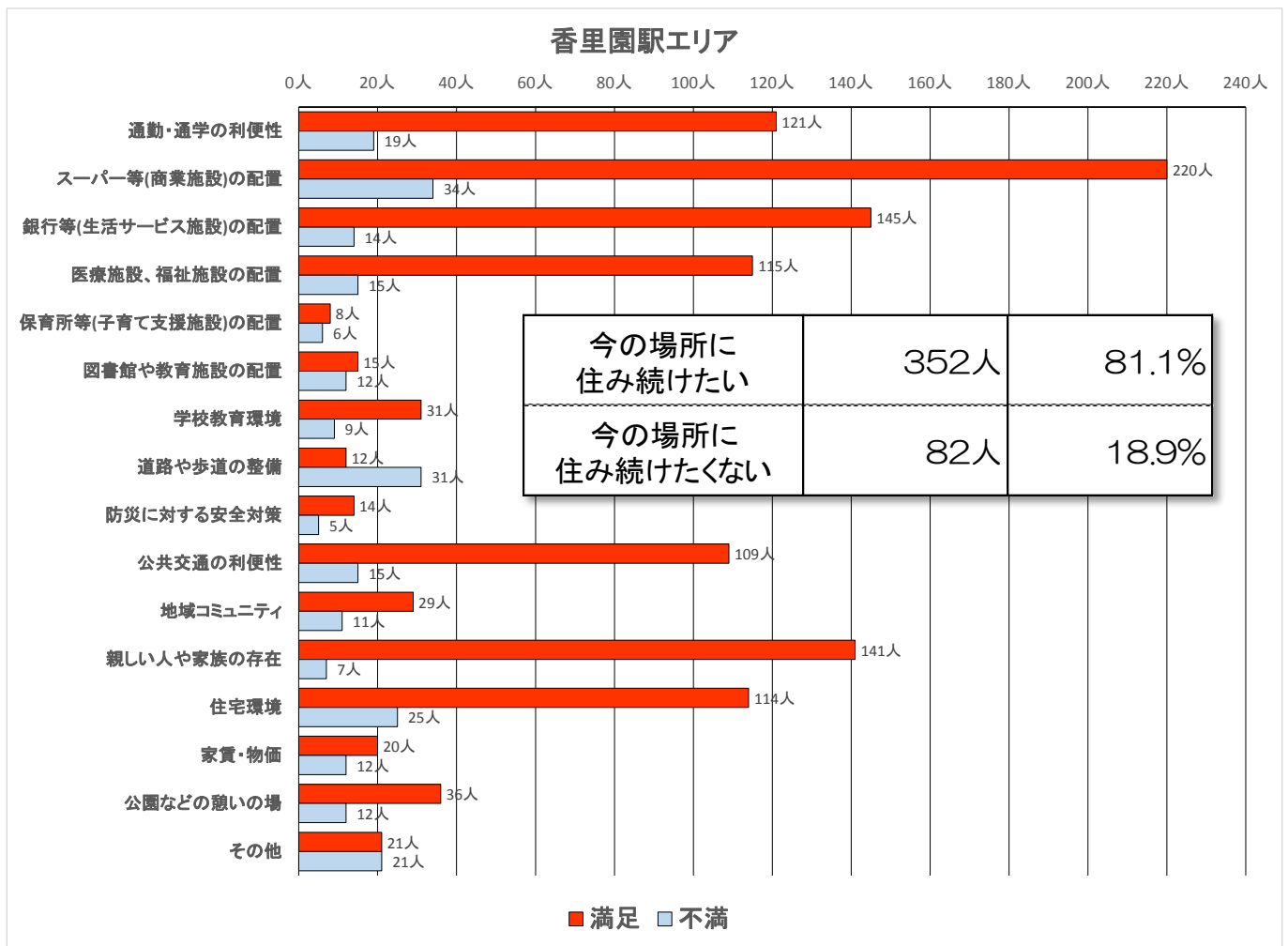
図 利用する子育て支援施設の場所



<エリア内の定住意向>

- ・エリア内の定住意向は、住み続けたいと思う割合が、81.1%と市内平均と比べて高い割合となっています。
- ・住み続けたい理由としては、「スーパー等(商業施設)」、「銀行等(生活サービス施設)」、「医療施設」などの配置に満足していることや、「親しい人や家族が身近にいる」、「通勤・通学に便利」、「住宅環境」、「公共交通の利便性」などとなっています。
- ・住み続けたくない理由として、「道路や歩道の整備」の不満の割合が高く、「スーパー等(商業施設)」の配置については、不満の割合の中では比較的高い割合となっています。

図 住みたい理由と住みたくないう理由



【 香里園駅エリアにおける考察 】

- ・ 香里園駅エリアは、商業施設や生活サービス施設、医療施設などが立地し、それぞれの満足度も高く、親しい人や家族の存在、通勤・通学の利便性、住宅環境や公共交通の利便性が良いなど、利便性が高く住みよいまちであることが伺えます。
- ・ しかしながら、道路や歩道の整備の不満の割合が比較的高く、商業施設の配置については、不満の割合の中では比較的高いことから、密集住宅地区内の狭隘道路などの整備を促進することや、駅周辺、特に駅東側に少ない商業施設の誘導などが必要と考えられます。
- ・ また、現在事業中の京阪本線連続立体交差事業に伴い、高架化や周辺道路の状況が抜本的に更新されることと併せて、必要となる機能を有する施設の誘導や、浸水対策を進めることなども必要と考えられます。

寝屋川市駅エリア

<エリアの概要>

- ・寝屋川市駅エリアは、本市の中心に位置し、駅を中心に住宅をはじめ商業、教育・文化施設など多様な都市機能が集積しており、駅東側は市街地再開発事業や街路事業による基盤整備により、良好な土地利用が図られつつあり、駅西側は老朽木造集合住宅等が密集していますが、都市計画道路対馬江大利線の整備が進められています。

<エリアの特性>

- ・アンケートの結果から、エリア内の高齢者の回答割合が比較的高くなっています。また、持家の一戸建の割合が比較的高くなっています。
- ・公共交通では鉄道の利用の割合が高く、次いで自転車の割合が高くなっています。

図 年齢階層別の人口構成

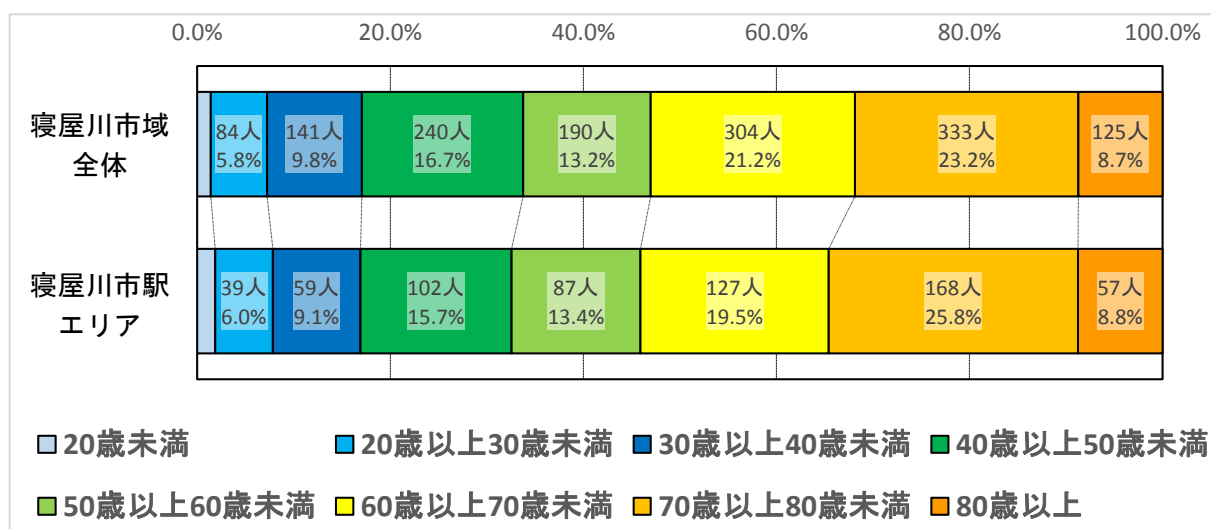


図 住宅の所有関係・型

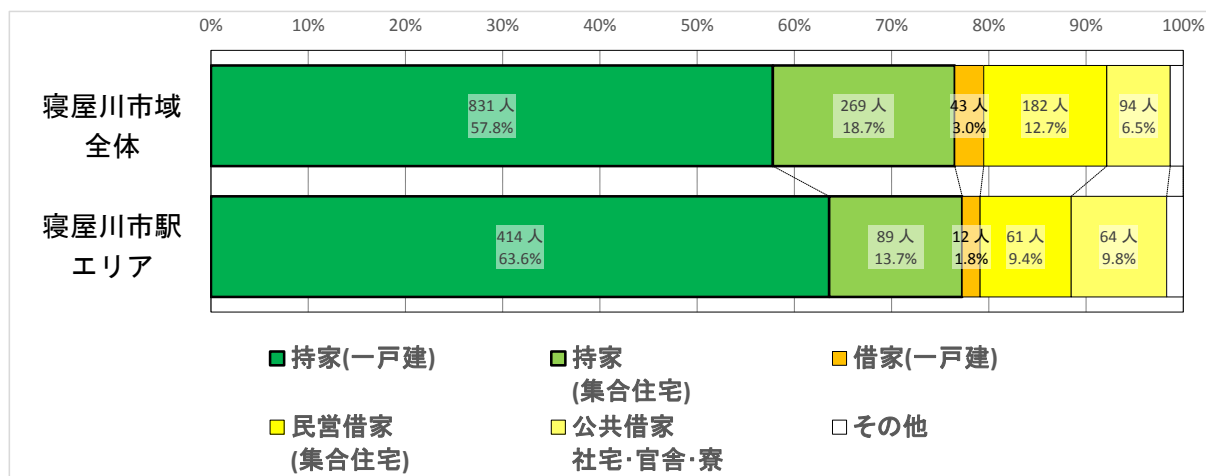
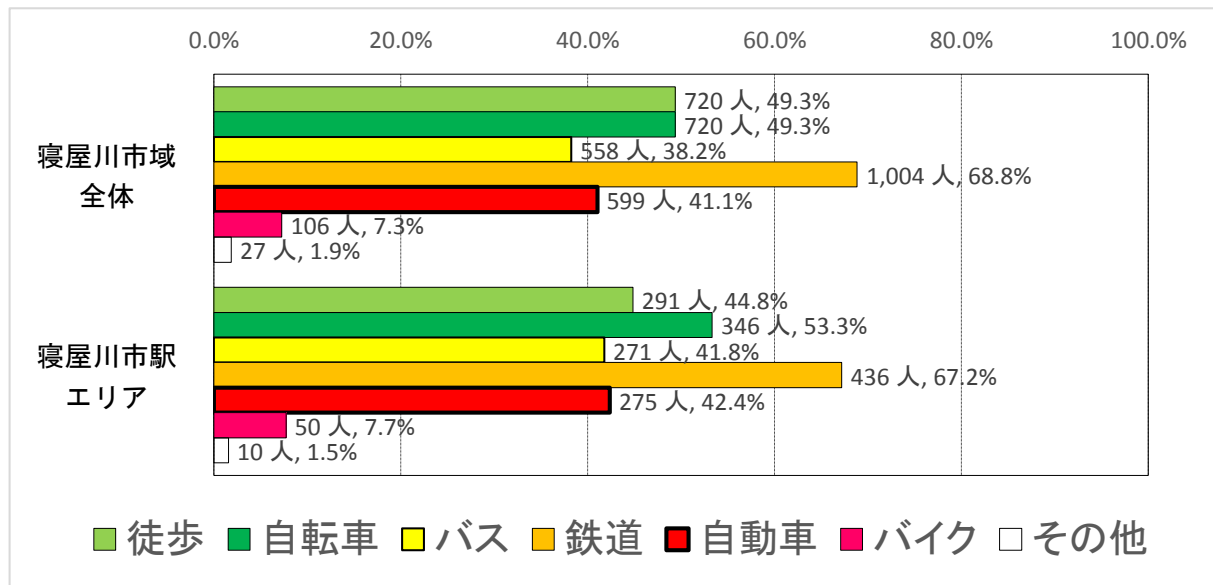


図 住民の方々の移動手段



<エリア内利用施設と満足度>

- ・病院の利用は、寝屋川市駅周辺及び市外病院の利用割合は高くなっていますが、満足度は比較的低くなっています。
- ・寝屋川市駅周辺には、スーパーや商店街などの商業施設が立地、集積しているものの、市外にある複合商業施設を月に1回以上利用及び月に2～3回程度の利用割合が高くなっています。
- ・子育て支援施設は、お住まいの周辺及び寝屋川市駅周辺の利用割合が高くなっています。

図 利用する病院の場所

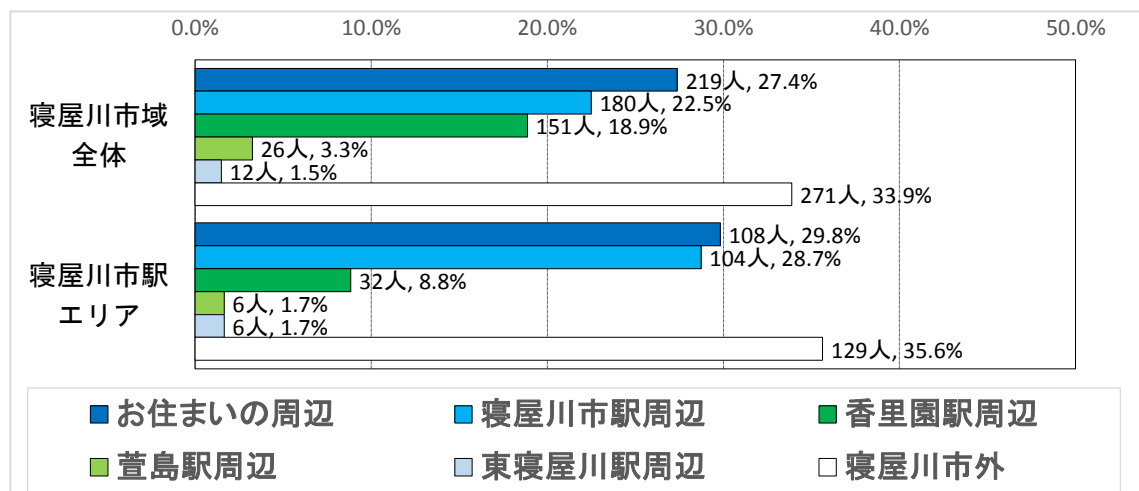


図 住まい周辺の医療施設の満足度

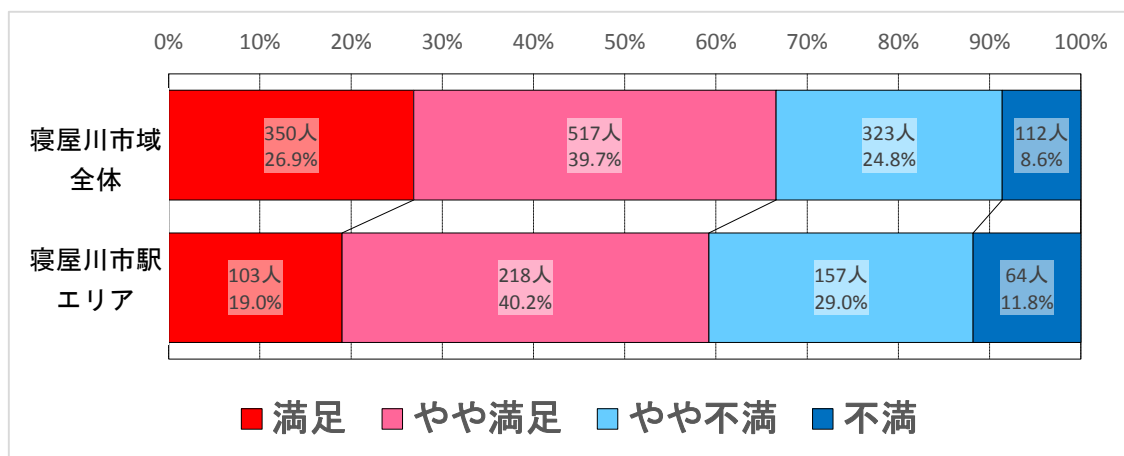


図 複合施設（商業施設）の利用状況

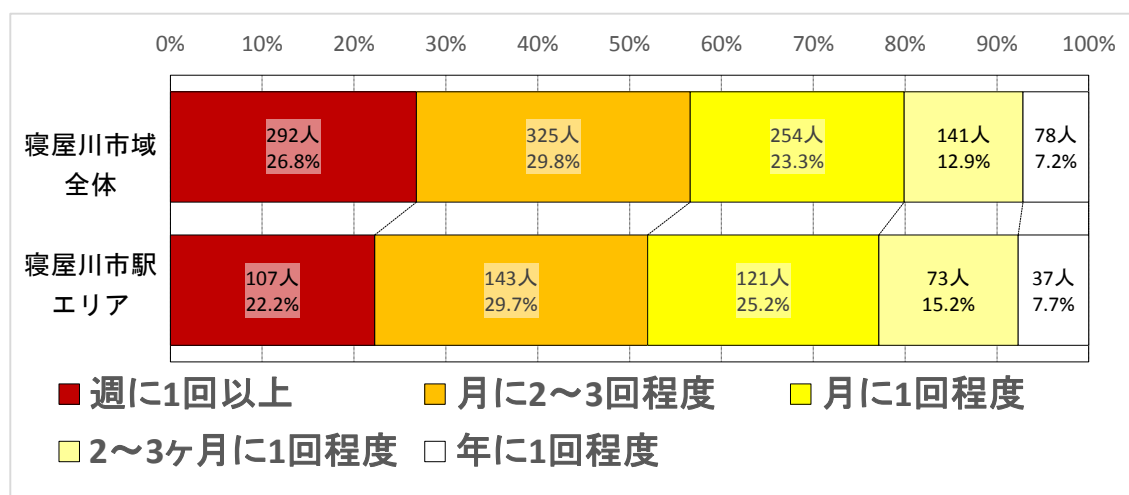


図 利用する複合商業施設の場所

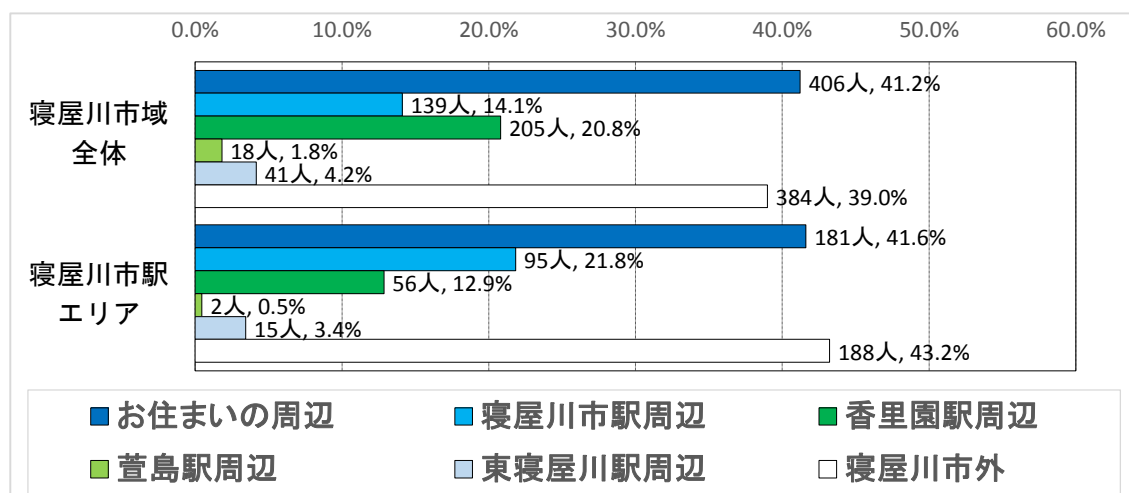
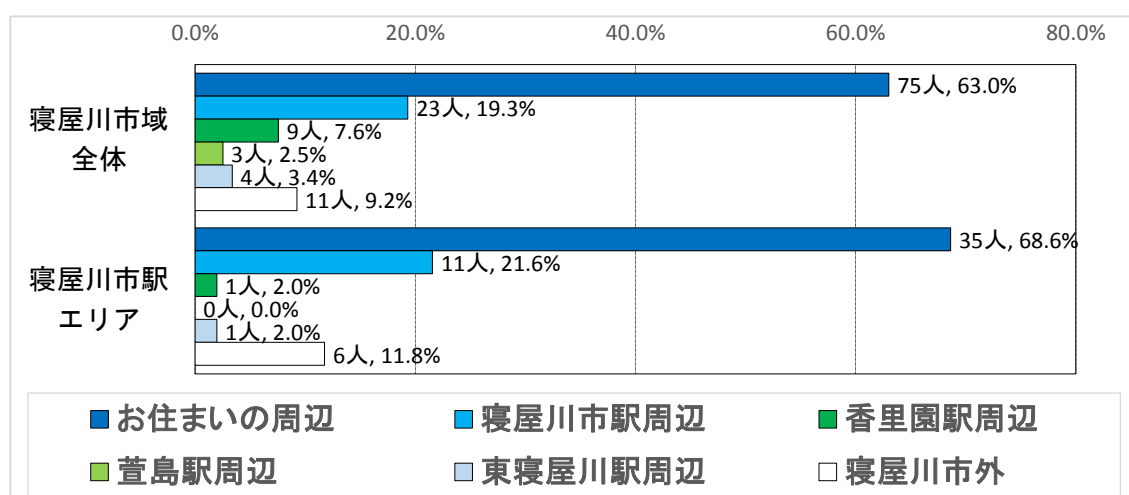


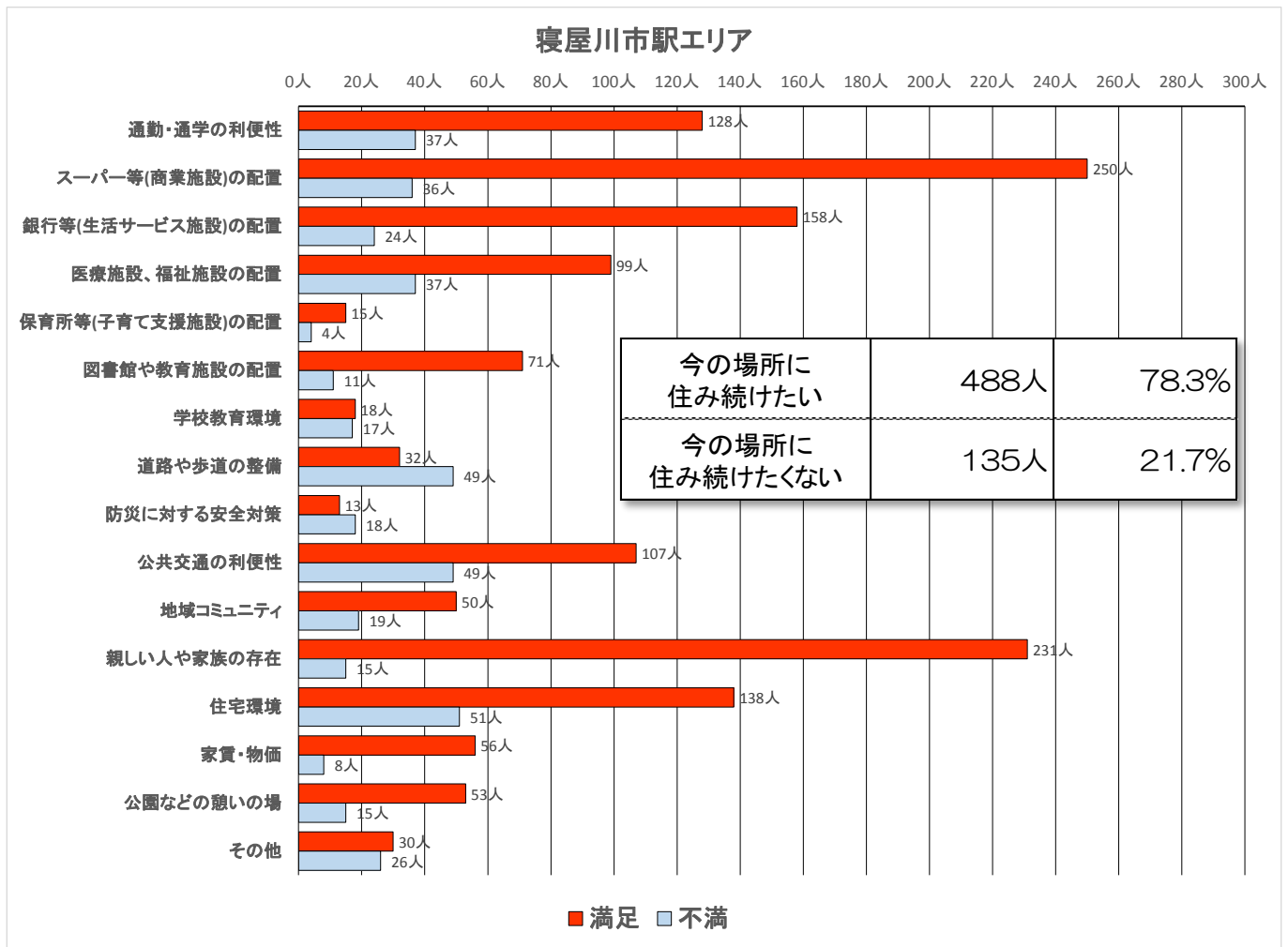
図 利用する子育て支援施設の場所



＜エリア内の定住意向＞

- ・エリア内の定住意向は、住み続けたいと思う割合が、78.3%と市内平均と比べて低い割合となっています。
- ・住み続けたい理由として、「スーパー等(商業施設)」、「銀行等(生活サービス施設)」などの配置に満足していることや、「親しい人や家族が身近にいる」、「住宅環境」、「通勤・通学の利便性」などとなっています。
- ・住み続けたくない理由として、「道路や歩道の整備」、「防災に対する安全対策」の不満の割合が高くなっています。

図 住み続けたい理由と住み続けたくない理由



【 寝屋川市駅エリアにおける考察 】

- ・ 寝屋川市駅エリアは、商業施設や生活サービス施設、医療施設などが立地し、それぞれの満足度も比較的高く、特に図書館等の配置については、他のエリアと比較して高い割合になっています。
- ・ また、通勤・通学や公共交通の利便性も高く、親しい人や家族の存在や住宅環境の満足度の割合も高いことから、住みよいエリアであることが伺えます。
- ・ しかしながら、医療施設や商業施設など市外で利用されている割合が比較的高いことから、施設の規模や必要とする機能が満たされていないものと推察されます。このため、必要となる機能を有する施設を誘導することなどが考えられます。
- ・ また、道路や歩道の整備に対する不満の割合が比較的高いことから、駅周辺における密集住宅地区内における狭隘道路などの整備と併せて、都市計画道路対馬江大利線の整備を促進し、沿道への必要となる機能を有する施設を誘導することなどが考えられます。
- ・ 防災に対する安全対策への不満の割合が比較的高いことから、浸水対策など重点的に進めており、古川雨水幹線整備事業などを引き続き進めていくことが必要と考えられます。

萱島駅エリア

<エリアの概要>

- ・萱島駅エリアは、門真市に隣接する寝屋川市の南部に位置し、駅周辺には既存の商店街の形成による商業店舗等が立地、駅東側では老朽木造集合住宅等が密集したエリアとなっています。

<エリアの特性>

- ・アンケートの結果から、エリア内の30～40歳代の回答割合が比較的高くなっています。また、持家の一戸建及び民営借家（集合住宅）の割合が比較的高くなっています。
- ・公共交通では、鉄道の利用の割合が高く、次いで自転車の割合が高くなっています。

図 年齢階層別の人口構成

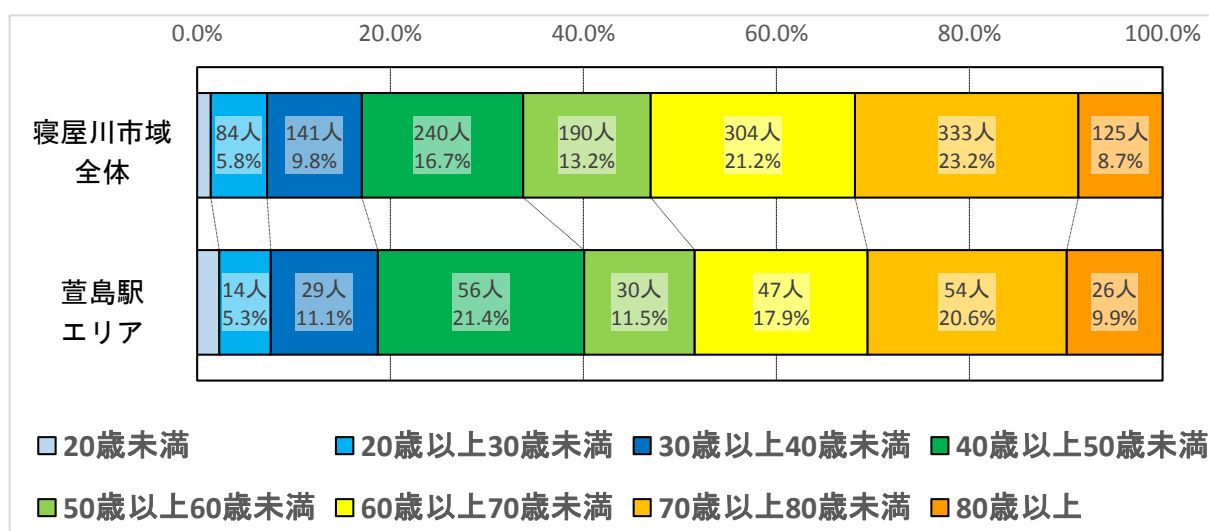


図 住宅の所有関係・型

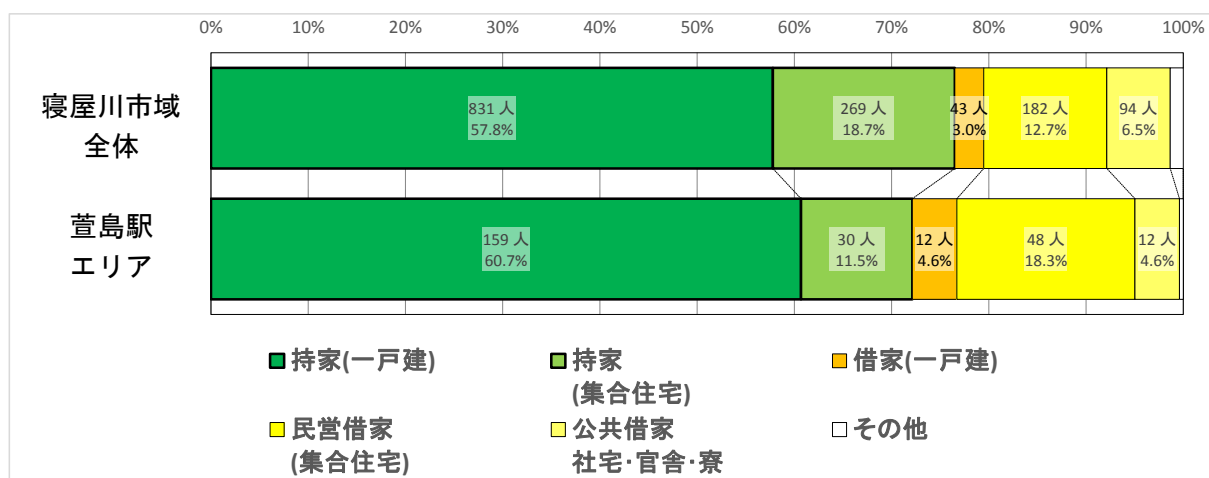
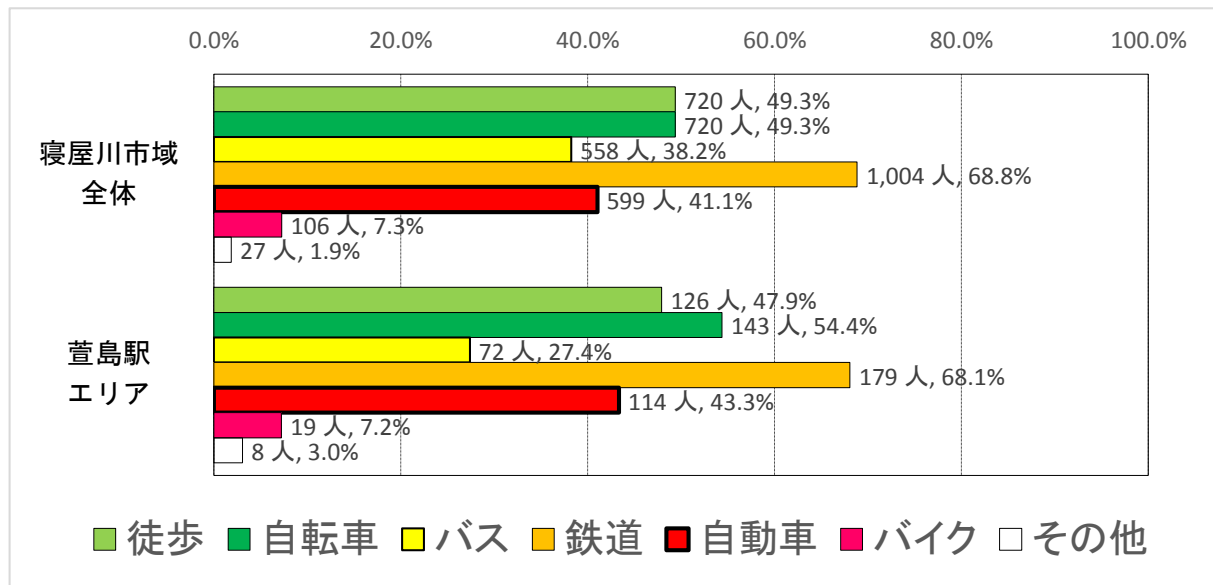


図 住民方々の移動手段



<エリア内の利用施設と満足度>

- ・病院の利用は市外の利用割合が高くなっています。
- ・商業施設は、萱島駅周辺での利用が少なく、市外の複合商業施設の利用割合が高くなっています。
- ・子育て支援施設は、お住まいの周辺及び寝屋川市駅周辺の利用割合が高くなっています。
- ・公共交通の利便性に対する不満の割合が高くなっています。

図 利用する病院の場所

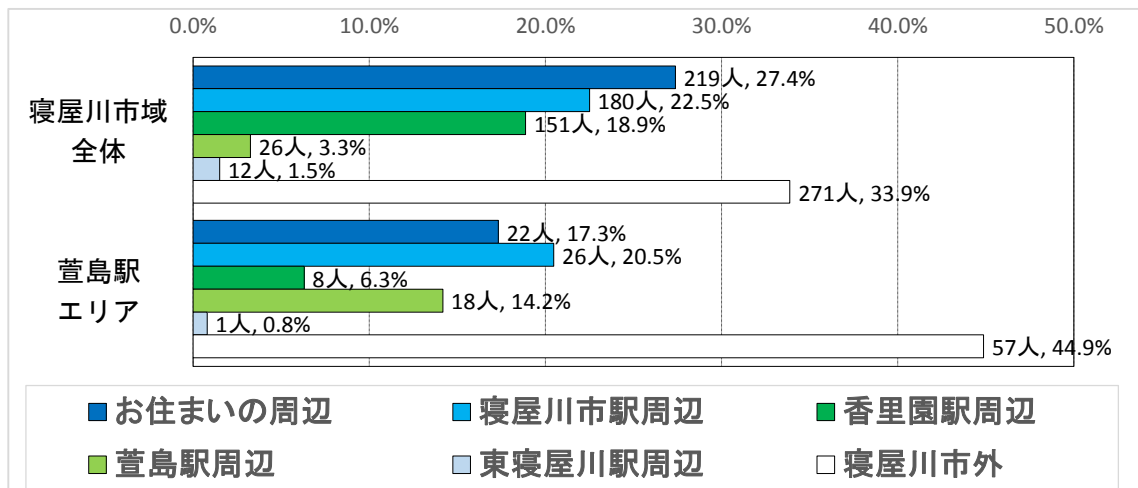


図 利用する複合商業施設の場所

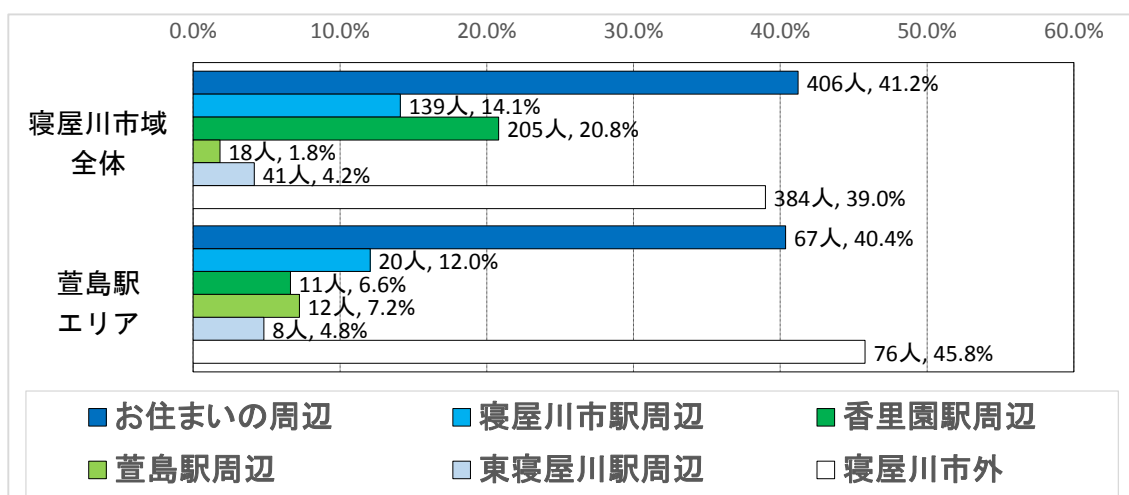


図 利用する子育て支援施設の場所

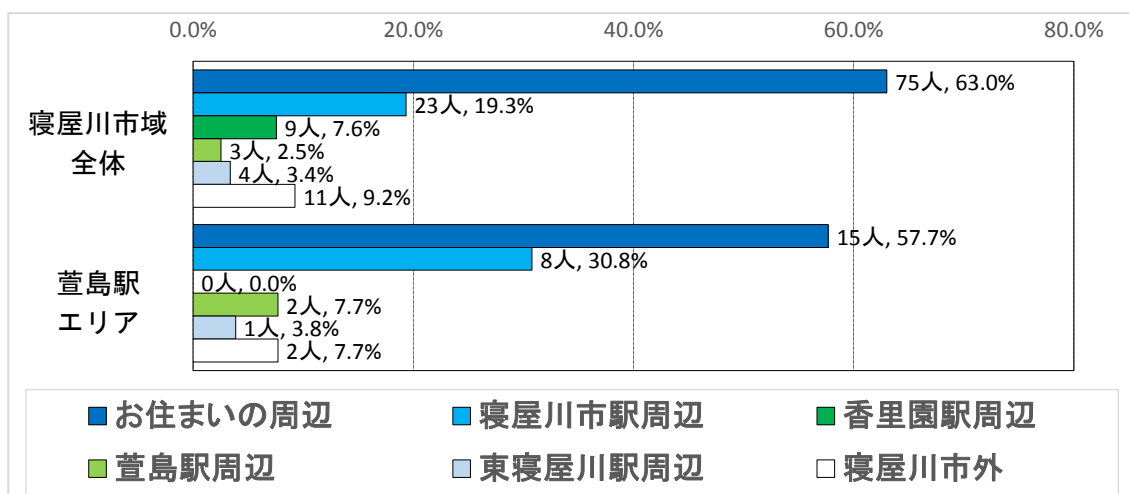
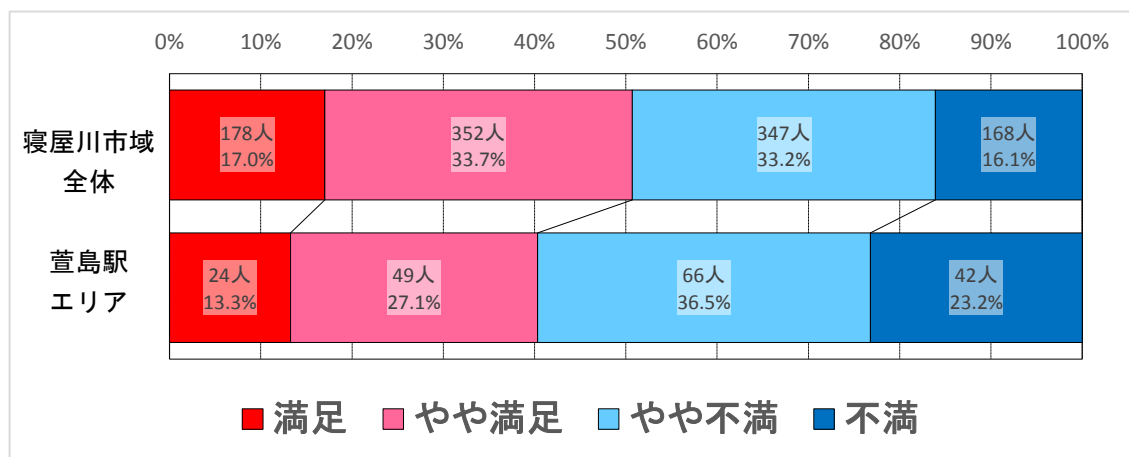


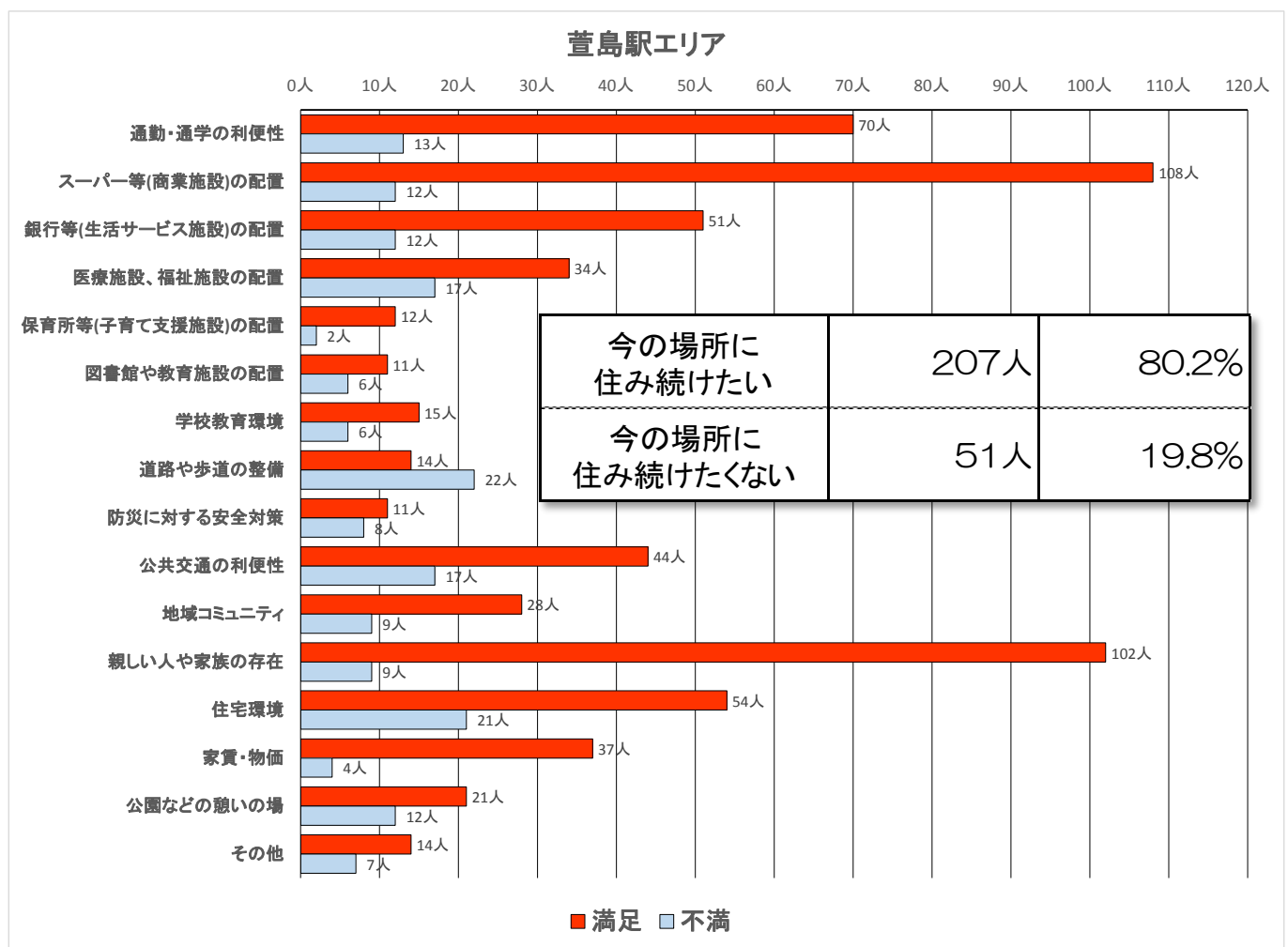
図 公共交通の利便性に対する満足度



＜エリア内の定住意向＞

- ・エリア内の定住意向は住み続けたいと思う割合が、80.2%と市内平均と比べて高い割合となっています。
- ・住み続けたい理由として、「スーパー等(商業施設)」、「銀行等(生活サービス施設)」などの配置に満足していることや、「親しい人や家族の存在」、「通勤・通学に便利」などとなっています。
- ・住み続けたくない理由として、「道路や歩道の整備」の不満の割合が高く、「住宅環境」については、不満の割合の中では比較的高い割合になっています。

図 住み続けたい理由と住み続けたくない理由



【 萱島駅エリアにおける考察 】

- ・ 萱島駅エリアは、商業施設や生活サービス施設、医療施設などが立地し、それぞれの満足度が比較的高い割合になっています。
- ・ また、通勤・通学や公共交通の利便性、親しい人や家族の存在や住宅環境などの割合も高いことから、住みよいエリアであることが伺えます。
- ・ しかしながら、医療施設や商業施設など市外で利用されている割合が比較的高いことから、施設の規模や必要とする機能が満たされていないものと推察されます。このため、必要となる機能を有する施設を誘導することなどが考えられます。
- ・ また、道路や歩道の整備に対する不満の割合が比較的高いことから、駅周辺における密集住宅地区内における狭隘道路などの整備促進や、今後の都市計画道路萱島讃良線の整備と併せて、沿道に必要な機能を有する施設を誘導することなどが考えられます。

東寝屋川駅エリア

<エリアの概要>

- ・東寝屋川駅エリアは、寝屋川市の東部に位置し、駅周辺に商業施設や集合住宅が立地、駅東側の中高層の住宅団地や駅西側には住宅地が形成されており、現在、進められている土地区画整理事業後には、商業・医療施設などが誘致される予定となっています。

<エリアの特性>

- ・アンケートの結果から、エリア内の 50～60 歳代の回答割合が比較的高くなっています。また、持家の集合住宅の割合が比較的高くなっています。
- ・公共交通では鉄道の利用の割合が高く、次いで自動車の割合が高くなっています。

図 年齢階層別の人口構成

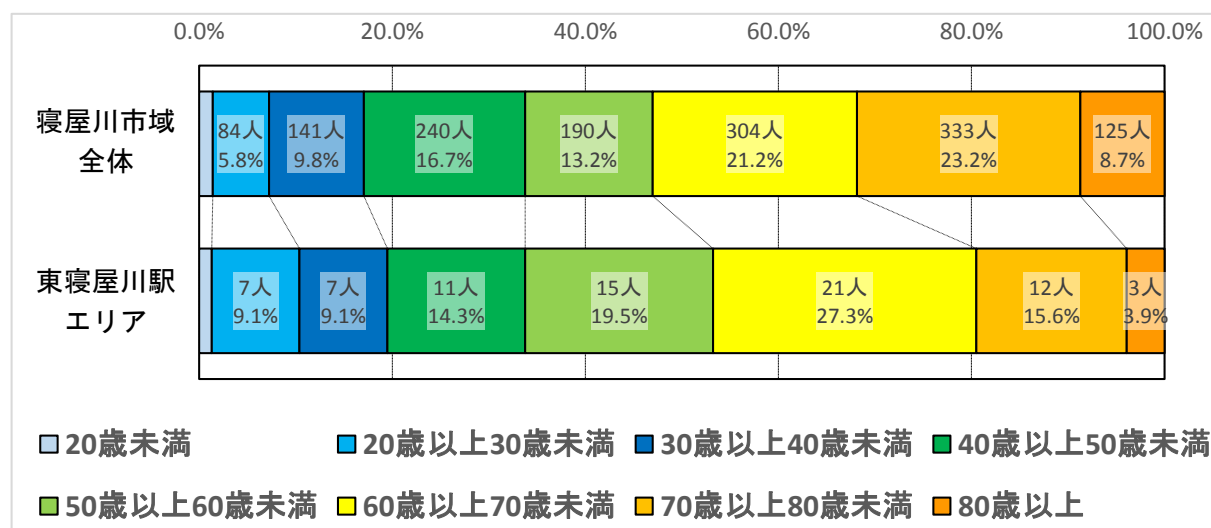


図 住宅の所有関係・型

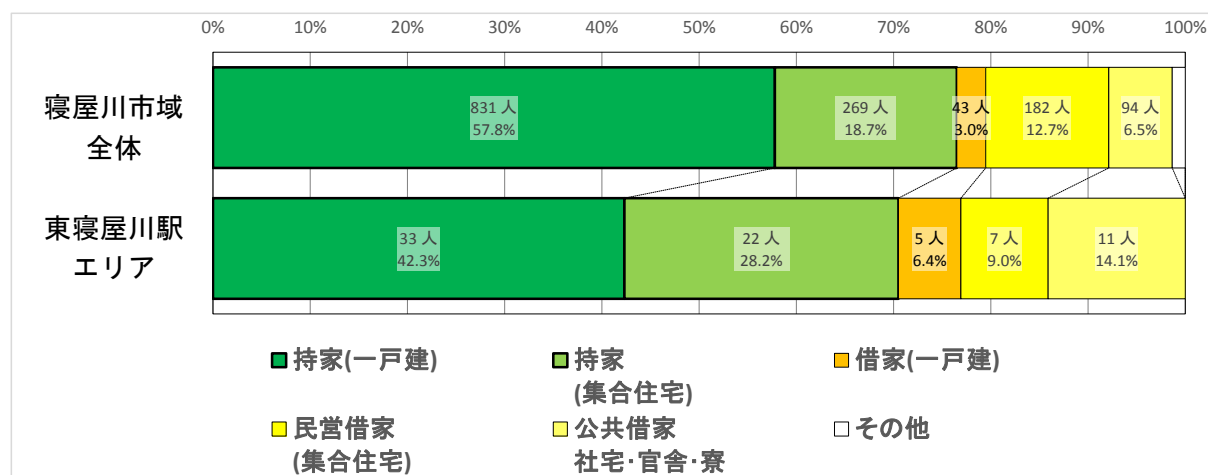
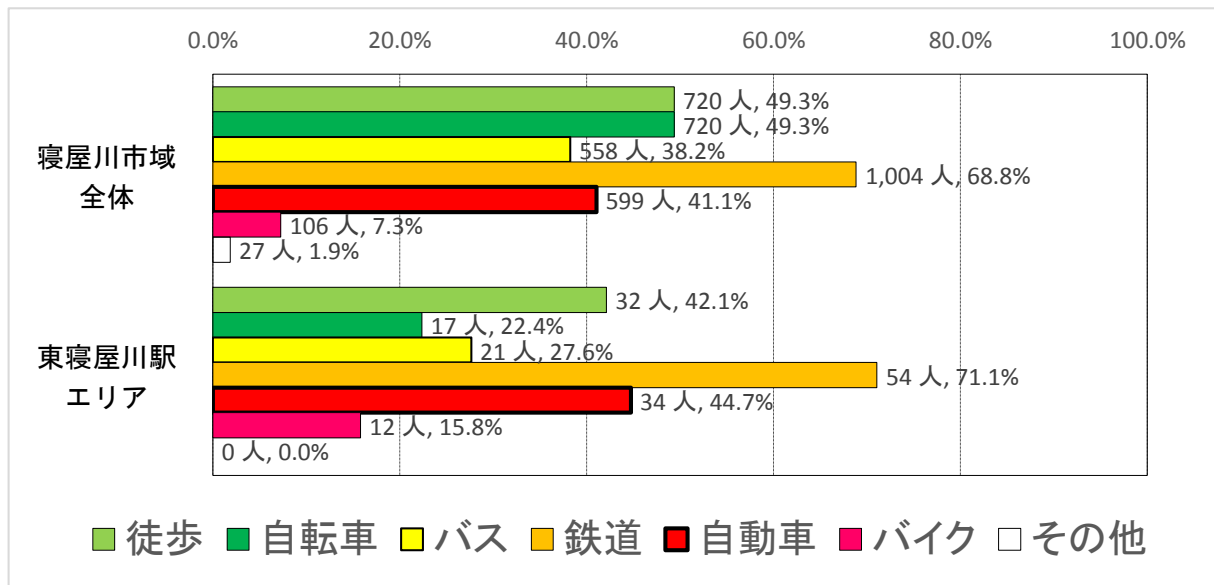


図 住民の方々の移動手段



<エリア内の利用施設と満足度>

- ・住まい周辺の病院の立地に対する満足度は比較的低くなっています。
- ・住まい周辺の商業施設の立地に対する満足度は比較的低くなっています。
- ・公共交通の利便性に対する不満の割合が高くなっています。

図 住まい周辺の病院の満足度

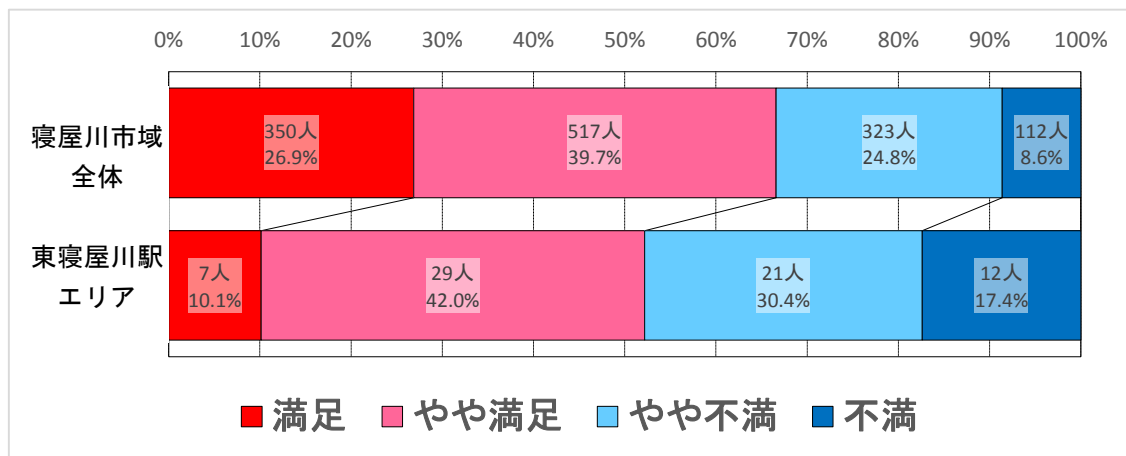


図 住まい周辺の商業施設に対する満足度

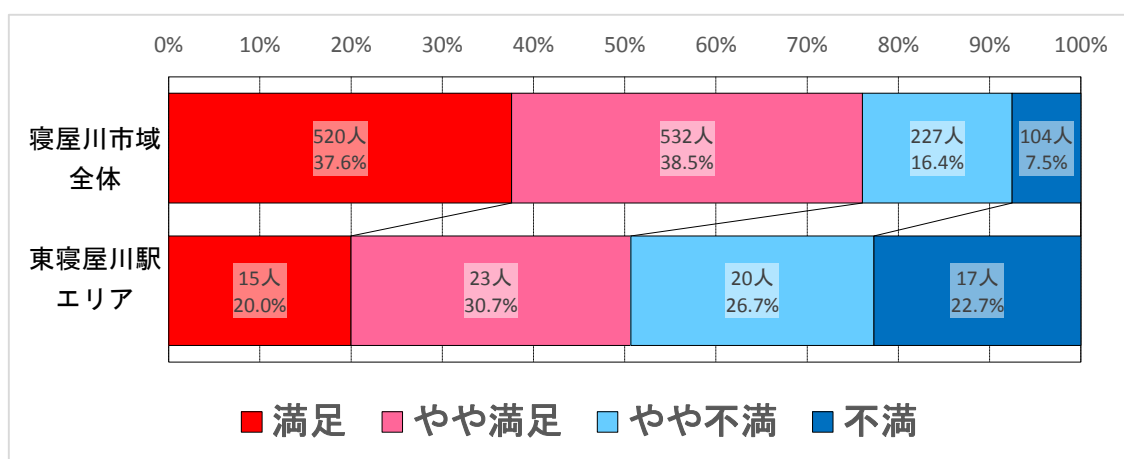
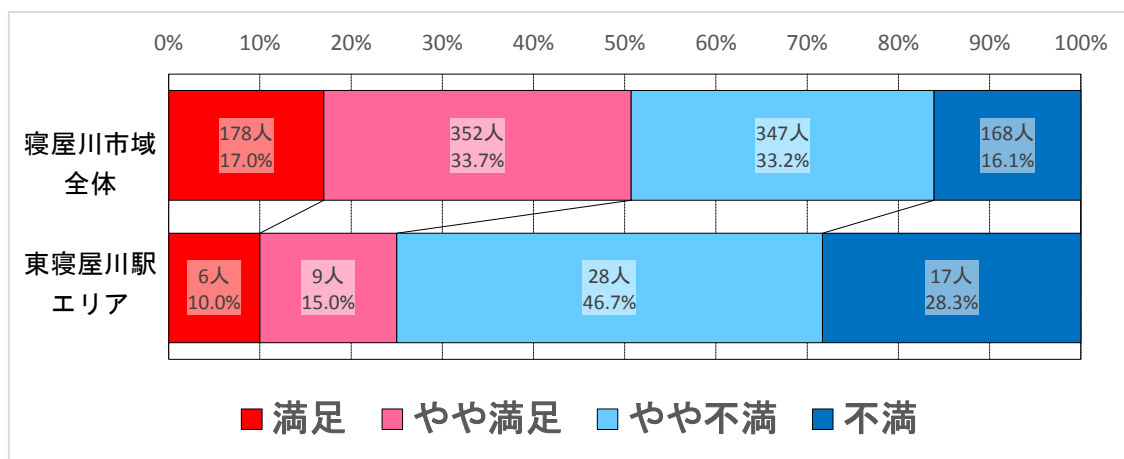


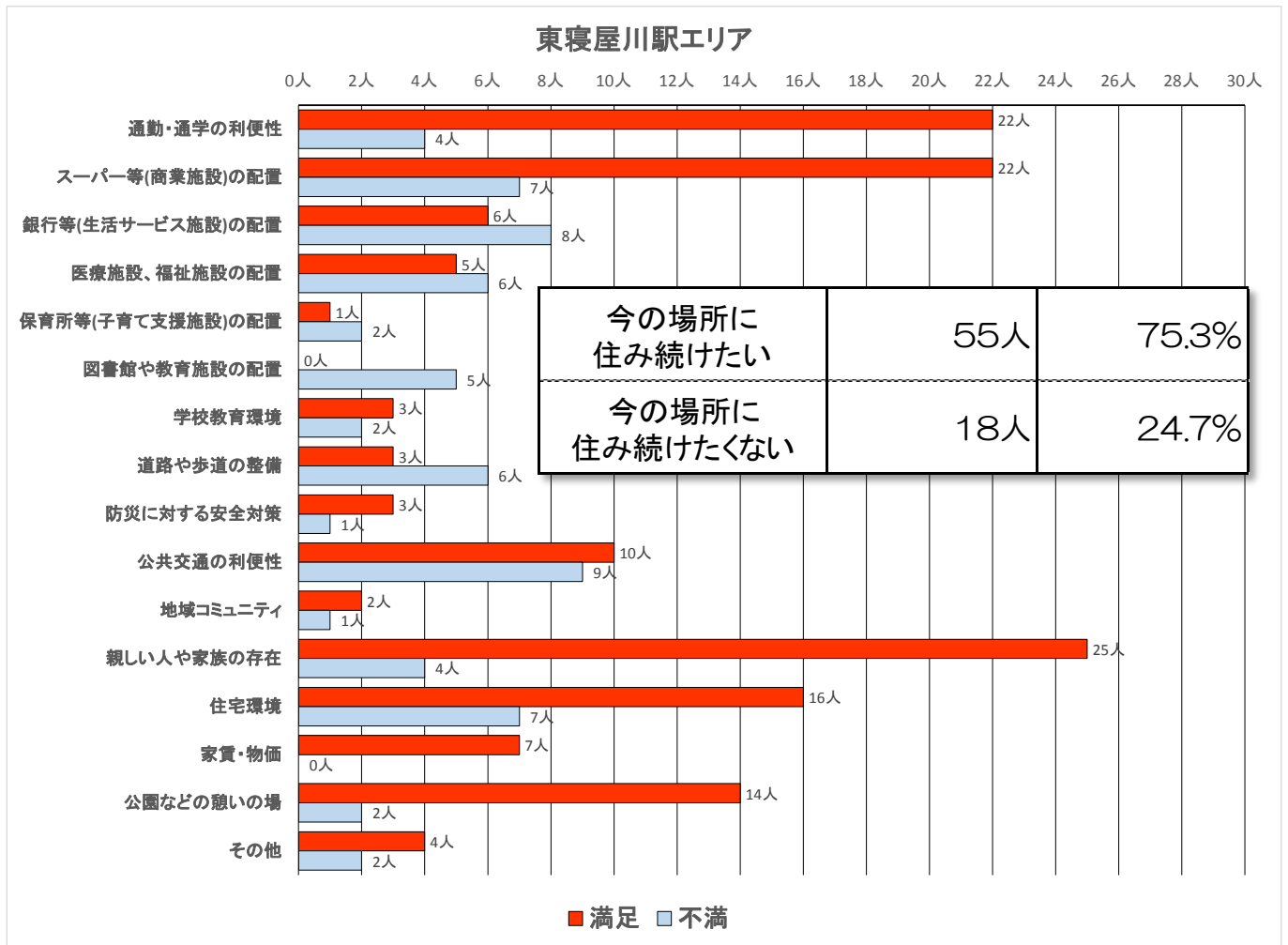
図 公共交通の利便性に対する満足度



<エリア内の定住意向>

- ・エリア内の定住意向は、住み続けたいと思う割合が、**75.3%**と市内平均と比べて低い割合となっています。
- ・住み続けたい理由として、「スーパー等(商業施設)」の配置に満足していることや、「親しい人や家族の存在」、「通勤・通学の利便性」、「住宅環境」、「公園など憩いの場」などとなっています。
- ・住み続けたくない理由として、「銀行等(生活サービス施設)」、「医療施設」、「図書館や教育施設」の配置や、「道路や歩道の整備」の不満の割合が高くなっています。

図 住み続けたい理由と住み続けたくない理由



【 東寝屋川駅エリアにおける考察 】

- ・ 東寝屋川駅エリアは、商業施設の配置、通勤・通学の利便性が高く、親しい人や家族の存在、住宅環境の満足度の割合が高いことから、住みよいエリアであることが伺えます。
- ・ 更に公園などの憩いの場に満足する割合も比較的高いことから、寝屋川公園や市街化調整区域における緑等が近くにあることが要因と考えられます。
- ・ しかしながら、住まい周辺の商業施設に対する満足度は市域全体と比較して低い割合になっています。
- ・ また、銀行等（生活サービス施設）や医療施設、図書館や教育施設の配置などの不満の割合が比較的高いことから、土地区画整理事業後における商業・医療施設の誘致予定と併せて、駅周辺に必要となる機能を有する施設を誘導することなどが考えられます。
- ・ また、公共交通の利便性が不満の割合の中では比較的高い割合になっていることから、都市計画道路東寝屋川駅前線の整備等と併せて、公共交通網の再編等が必要と考えられます。

緑町エリア

<エリアの概要>

- ・緑町エリアは、鉄道と国道 170 号の交差点に位置し、商業施設（現在休業中）と大阪府立大学工業高等専門学校が立地し、地域住民の生活拠点として周辺には良好な住宅が立地しています。

<エリアの特性>

- ・アンケートの結果から、エリア内の高齢者の回答割合が比較的高くなっています。また、持家の一戸建及び集合住宅などの割合が比較的高くなっています。
- ・公共交通では鉄道の利用の割合が高く、次いで徒歩の割合が高くなっています。

図 年齢階層別の人口構成

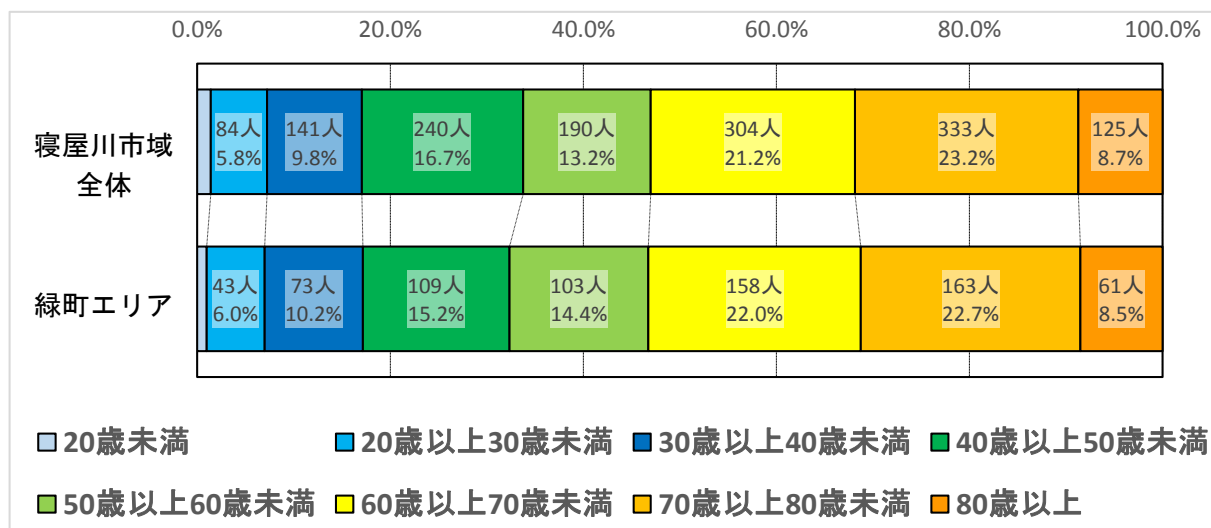


図 住宅の所有関係・型

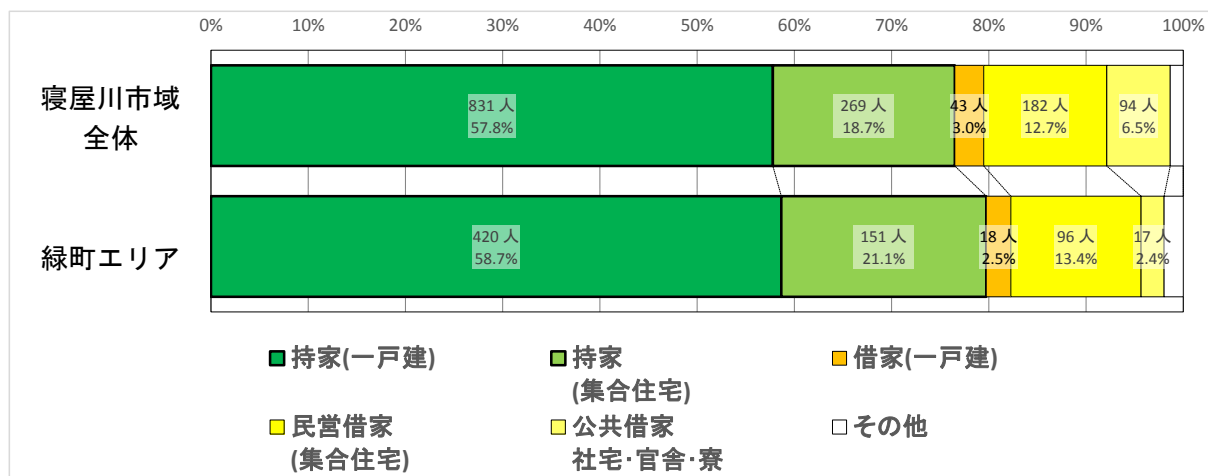
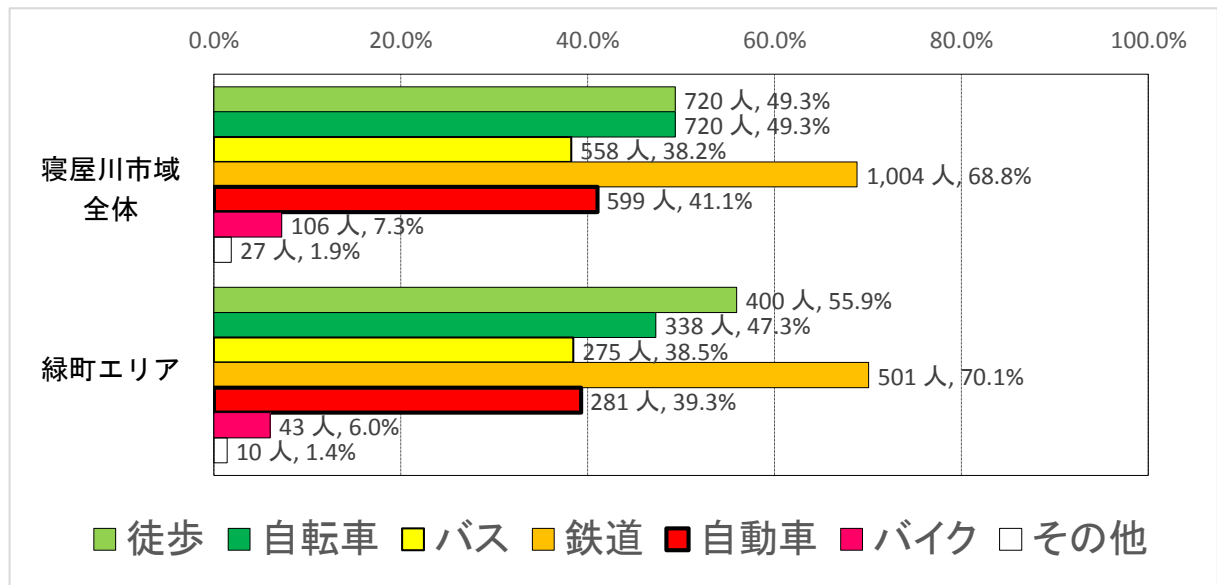


図 住民の方々の移動手段



<エリア内の施設と満足度>

- ・お住まいの周辺の病院の利用割合が高くなっていますが、市外病院の利用割合も比較的高く、満足度も高くなっています。
- ・エリア内に商業施設が立地していることから、満足度は高くなっています。
- ・子育て支援施設は、お住まいの周辺の利用割合が高くなっています。

図 利用する病院の場所

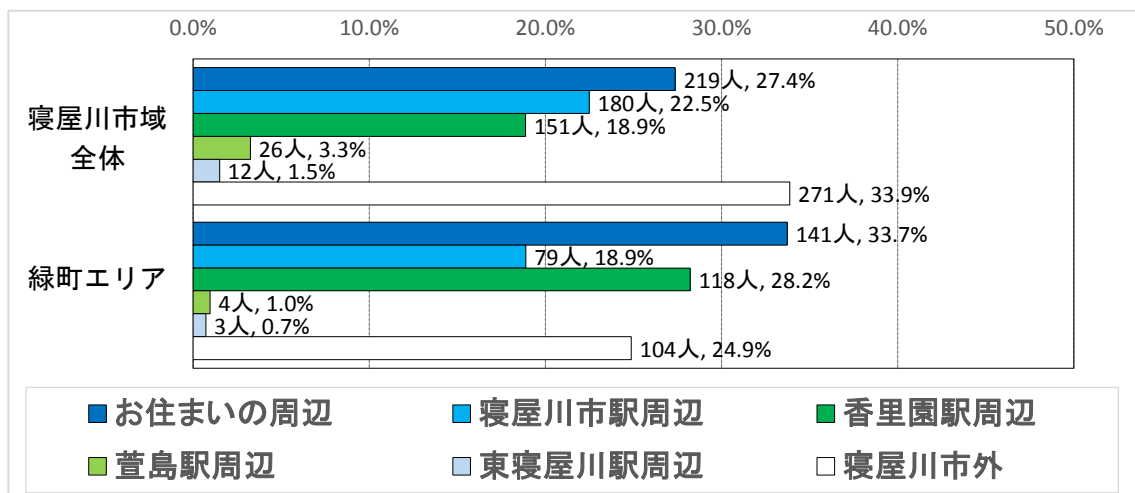


図 住まい周辺の医療施設の満足度

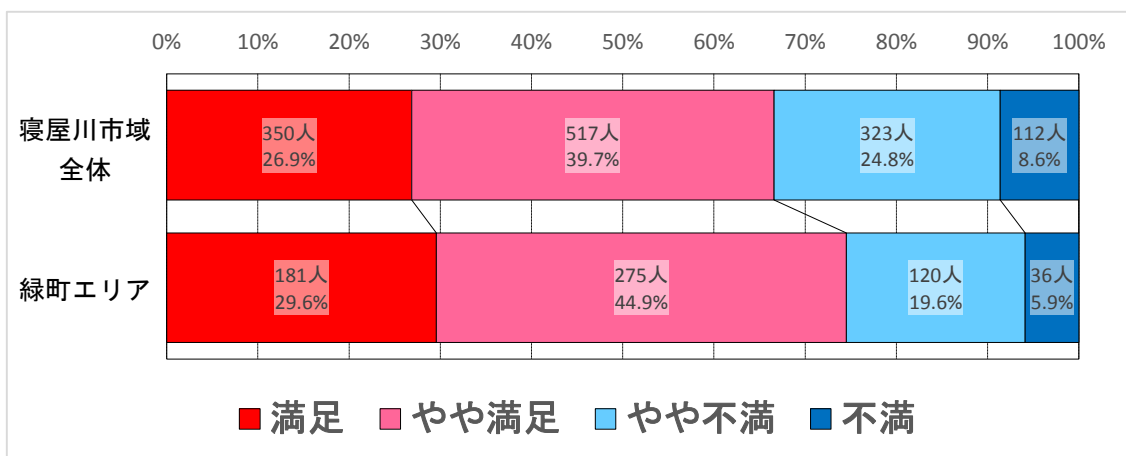


図 住まい周辺の商業施設等の満足度

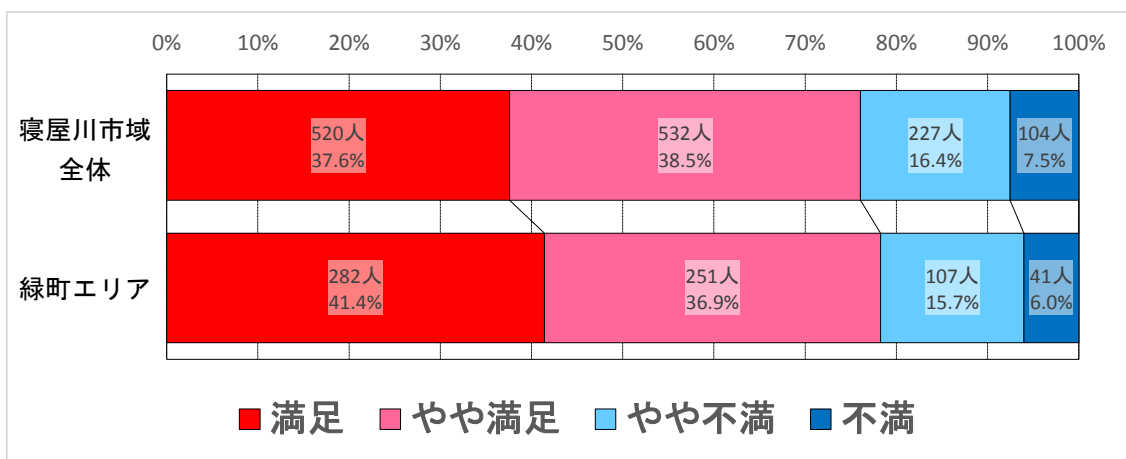
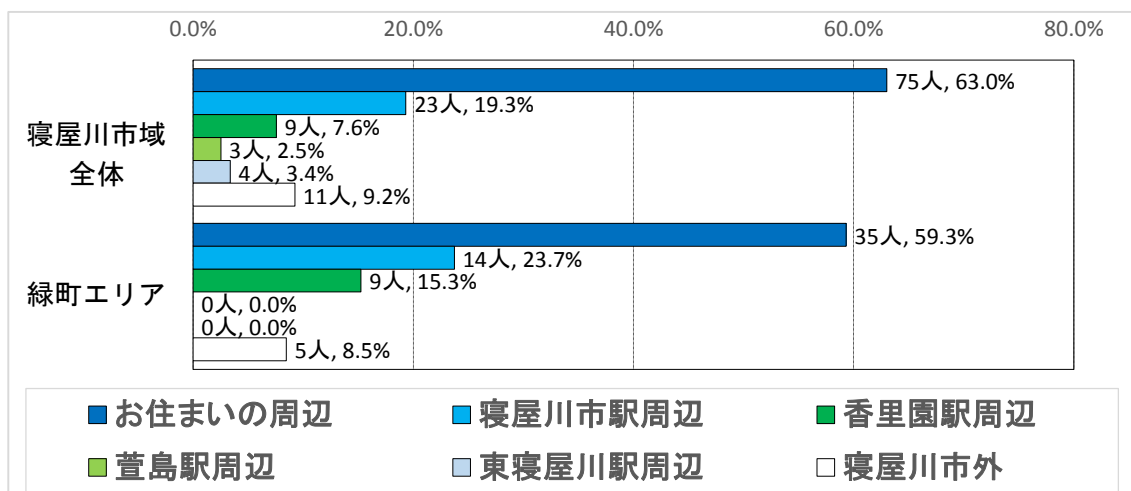


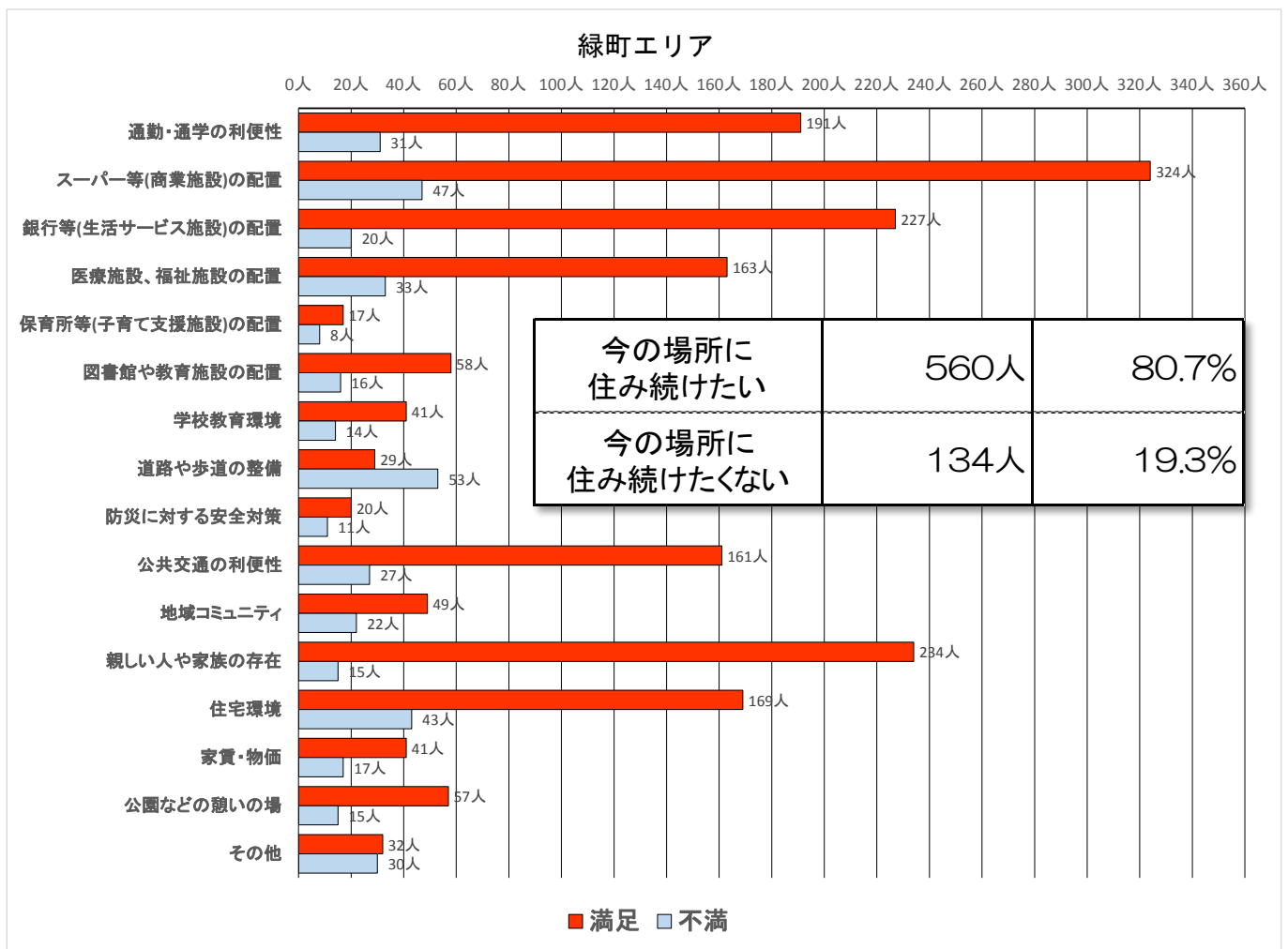
図 子育て支援施設の利用場所



＜エリア内の定住意向＞

- ・エリア内の定住意向は、住み続けたいと思う割合が、80.7%と市内平均と比べて高い割合となっています。
- ・住み続けたい理由として、「スーパー等(商業施設)」、「銀行等(生活サービス施設)」、「医療施設」の配置に満足していることや、「親しい人や家族の存在」、「通勤・通学の利便性」、「住宅環境」、「公共交通の利便性」などとなっています。
- ・住み続けたくない理由として、「道路や歩道の整備」の不満の割合が高くなっています。

図 住み続けたい理由と住み続けたくない理由



【 緑町エリアにおける考察 】

- ・ 緑町エリアは、商業施設や生活サービス施設、医療施設などが立地し、それぞれの満足度が比較的高い割合になっています。
- ・ また、通勤・通学や公共交通の利便性も高く、親しい人や家族の存在、住宅環境の割合も高いことから、住みよいまちであることが伺えます。
- ・ しかしながら、商業施設の一部において現在休業中の店舗があることから、引き続き、施設の規模や必要とする機能が満たされていないものと推察されます。このため、必要となる機能を有する施設を維持することなどが考えられます。
- ・ また、道路や歩道の整備に対する不満の割合が比較的高いことから、密集住宅地区内における狭隘道路などの整備を促進することなどが考えられます。
- ・ エリア内における大阪府立大学工業高等専門学校や、少し離れた場所には摂南大学が立地するため、学生の通学等に対する利便性の向上も考慮が必要と考えられます。

仁和寺エリア

<エリアの概要>

- ・仁和寺エリアは、守口市に隣接する寝屋川市の西部、淀川左岸に位置し、周辺は住宅と工場の混在や、公的賃貸住宅が立地し、大日駅との中継・乗り継ぎとなる公共交通ネットワークの拠点となっています。

<エリアの特性>

- ・アンケートの結果から、エリア内の高齢者の回答割合が比較的高くなっています。また、持家の一戸建の割合が比較的高くなっています。
- ・公共交通では鉄道の利用の割合が高く、次いで自転車の割合が高くなっています。

図 年齢階層別の人口構成

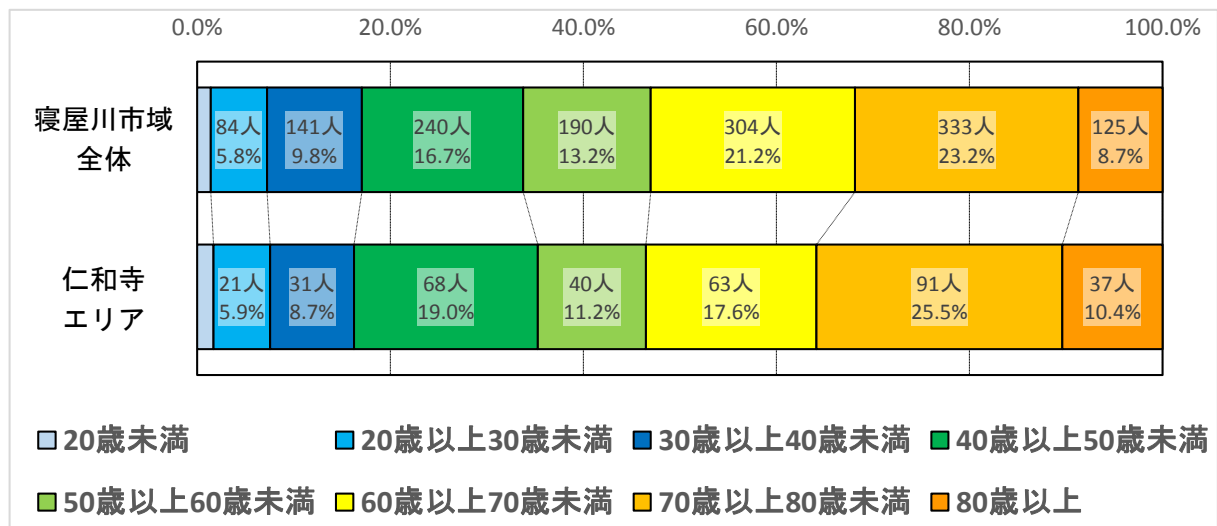


図 住宅の所有関係・型

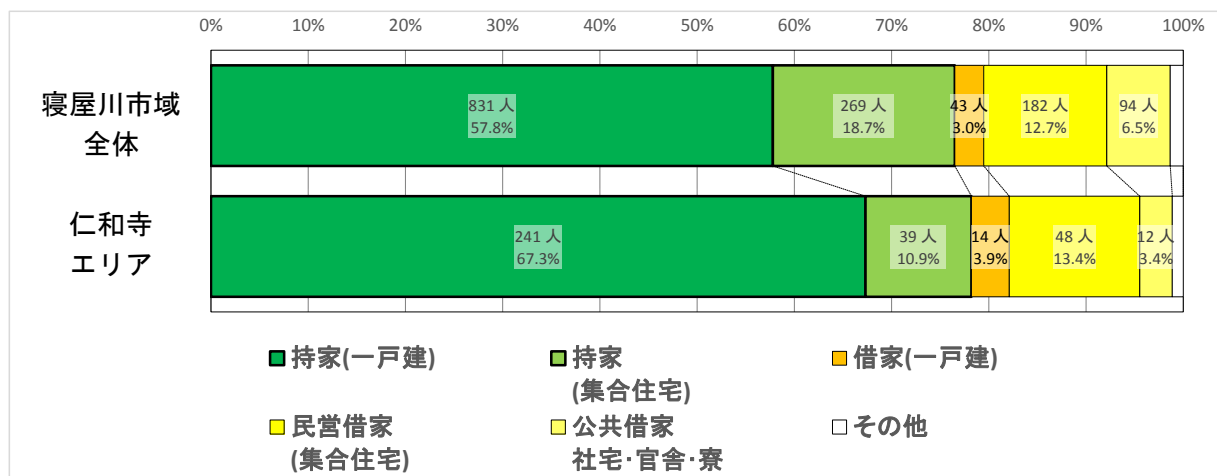
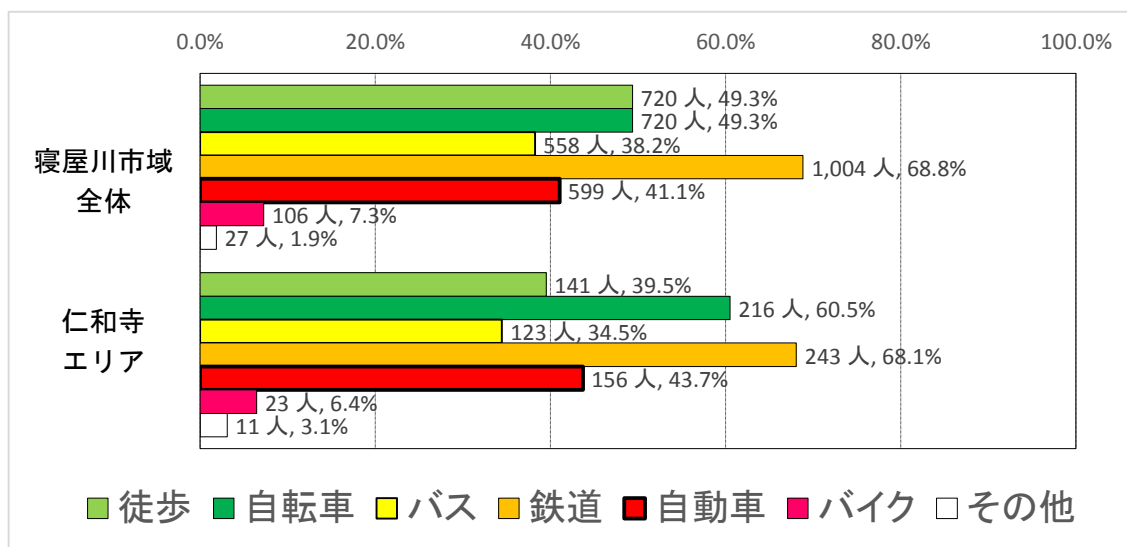


図 住民の方々の移動手段



<エリア内の利用施設と満足度>

- ・商業施設は、市外の複合商業施設の利用割合が非常に高くなっています。
- ・子育て支援施設は、お住まい周辺の利用割合が高くなっています。
- ・公共交通の利便性、道路や公園等の整備に対する不満の割合が高くなっています。

図 利用する複合商業施設の場所

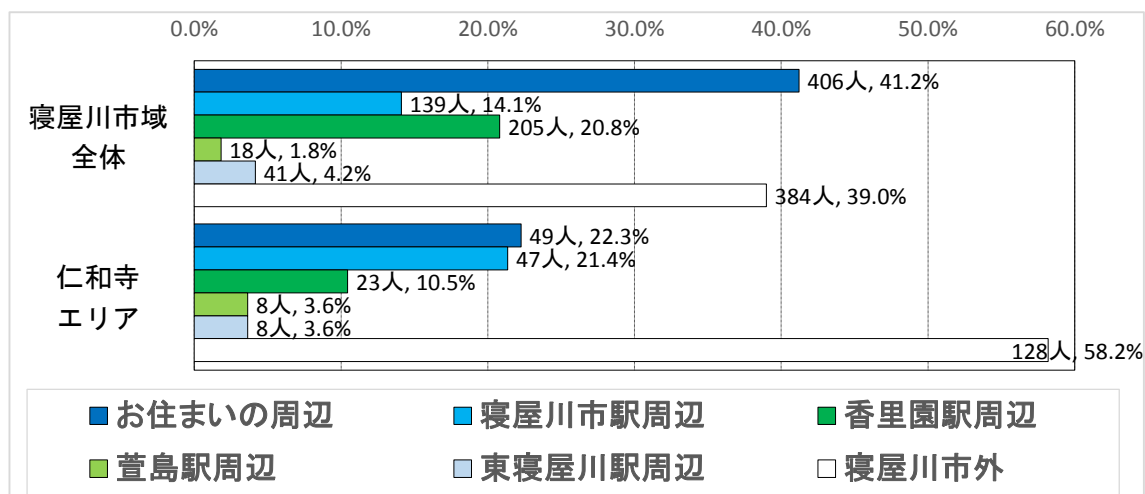


図 子育て支援施設の利用頻度

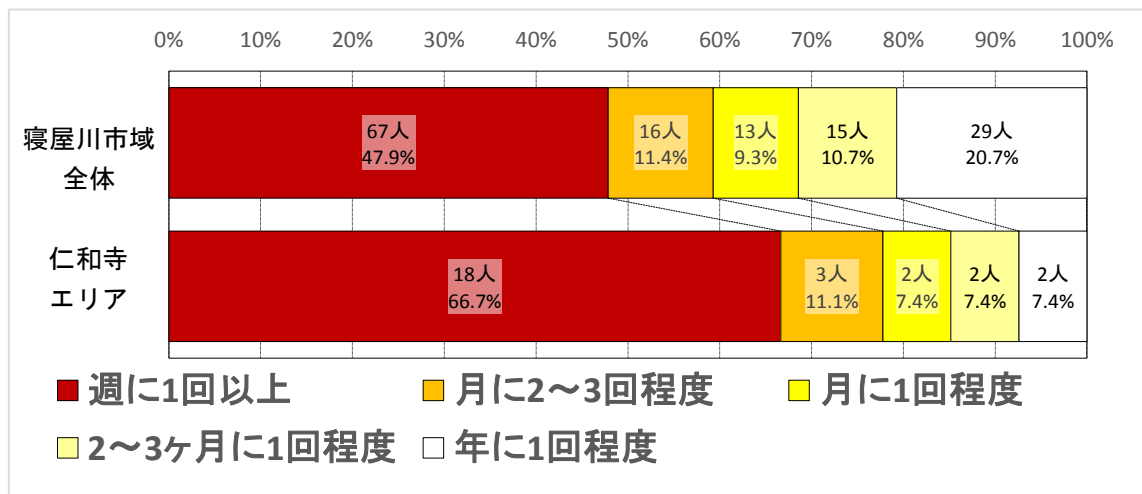


図 公共交通の利便性に対する満足度

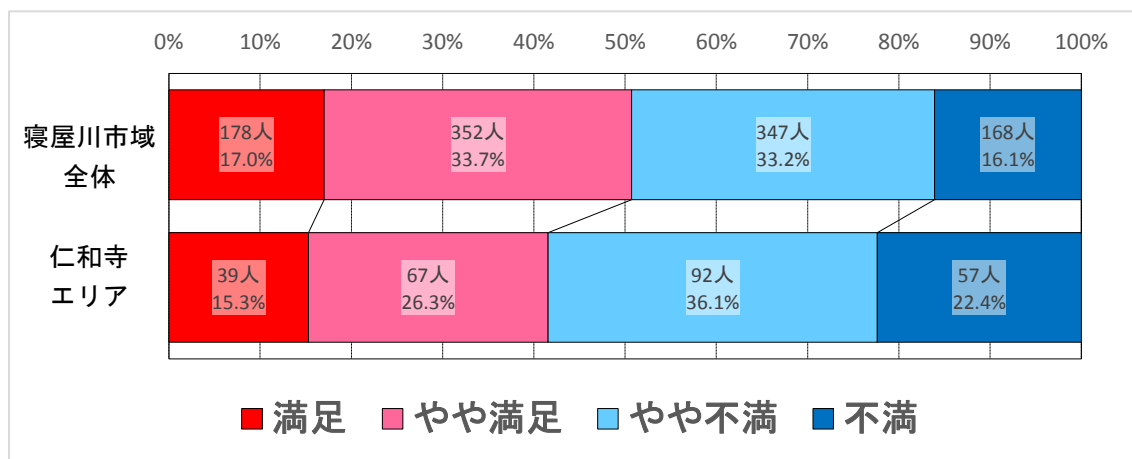
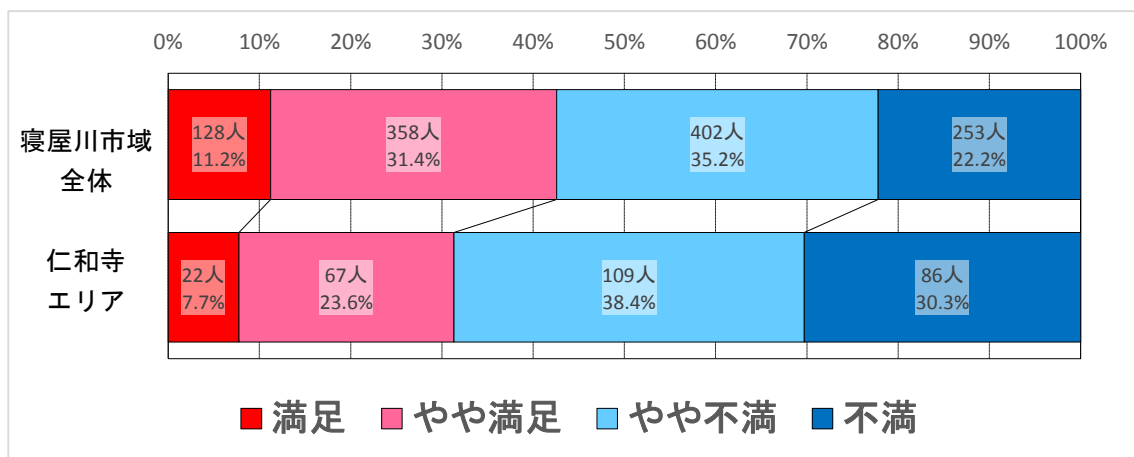


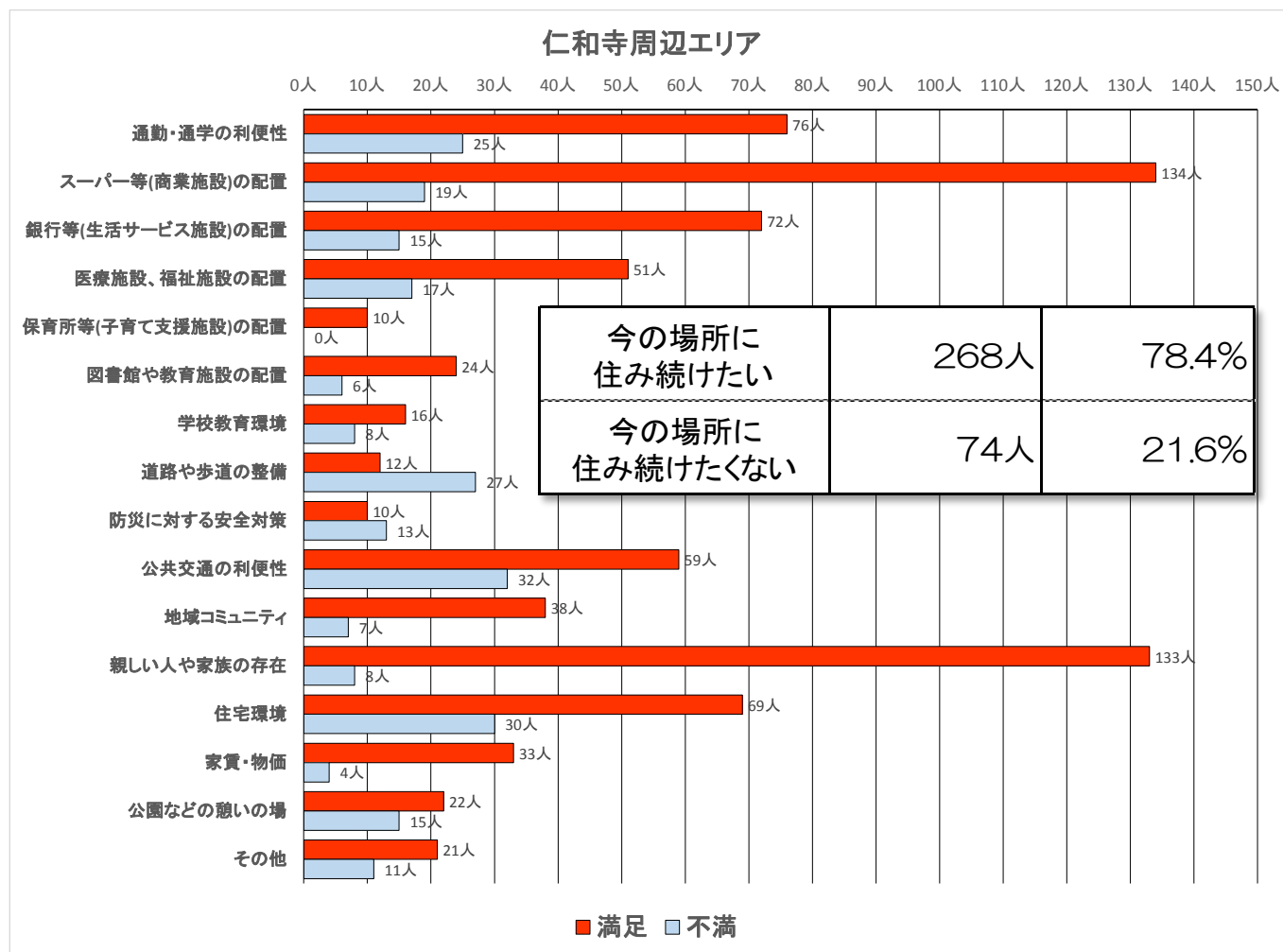
図 道路や公園等の整備に対する満足度



＜エリア内の定住意向＞

- ・エリア内の定住意向は、住み続けたいと思う割合が、78.4%と市内平均と比べて低い割合となっています。
- ・住み続けたい理由として、「スーパー等(商業施設)」、「銀行等（生活サービス施設）」の配置に満足していることや、「親しい人や家族の存在」、「通勤・通学の利便性」、「住宅環境」などとなっています。
- ・住み続けたくない理由として、「道路や歩道の整備」の不満の割合が高くなっています。

図 住み続けたい理由と住み続けたくない理由



【 仁和寺エリアにおける考察 】

- ・仁和寺エリアは、商業施設や生活サービス施設、医療施設などが立地し、それぞれの満足度が比較的高い割合になっています。
- ・また、通勤・通学や公共交通の利便性も高く、親しい人や家族の存在、住宅環境の満足度の割合も高いことから、住みよいエリアであることが伺えます。
- ・しかしながら、商業施設など市外で利用されている割合が比較的高いことから、施設の規模や必要とする機能が満たされていないものと推察されます。このため、必要となる機能を有する施設を誘導することなどが考えられます。
- ・また、道路や歩道の整備の不満の割合が比較的高く、住宅環境、公共交通の利便性に対する不満の割合の中では比較的高いことから、公共で管理する道路整備の検討や公共交通の利便性に資する交通結節機能の向上を図ることなどが必要と考えられます。

寝屋川団地・三井団地エリア

<エリアの概要>

- ・寝屋川団地・三井団地エリアは、寝屋川市の東部に位置し、大阪府・大阪府住宅供給公社・UR都市機構の大規模な団地が集積し、団地内には2か所のバスターミナルが設置されています。

<エリアの特性>

- ・アンケートの結果から、エリア内の高齢者の回答割合が比較的高くなっています。また、持家の集合住宅及び公共借家の割合が比較的高くなっています。
- ・公共交通では鉄道の利用の割合が高く、次いでバスの割合が高くなっています。

図 年齢階層別の人口構成

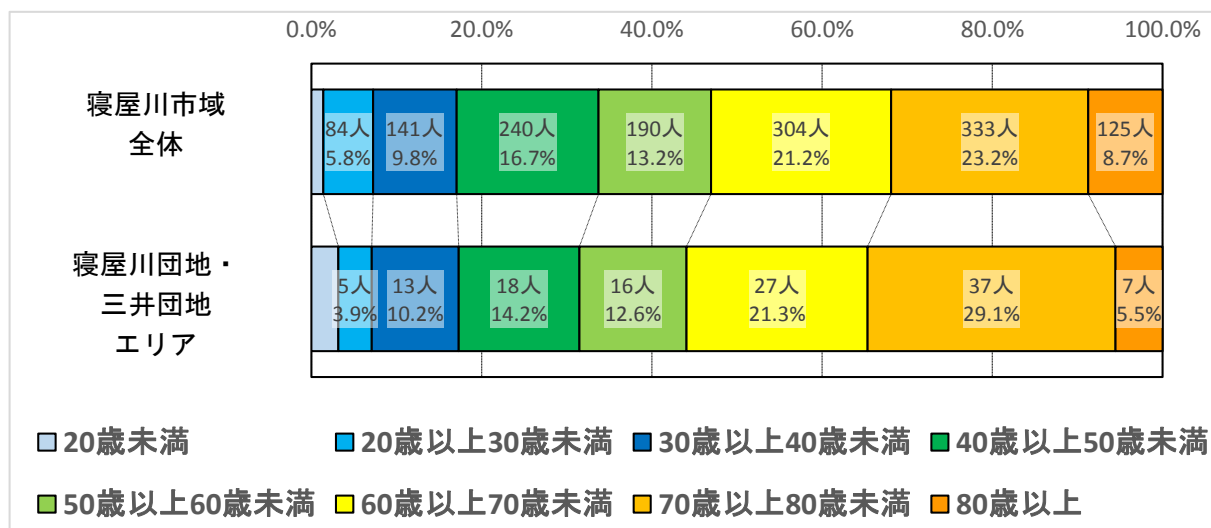


図 住宅の所有関係・型

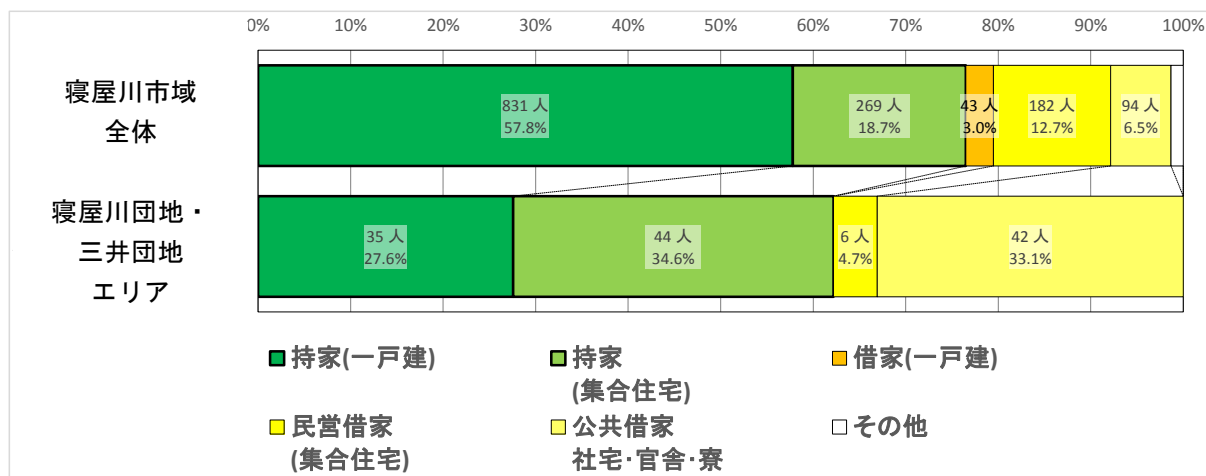
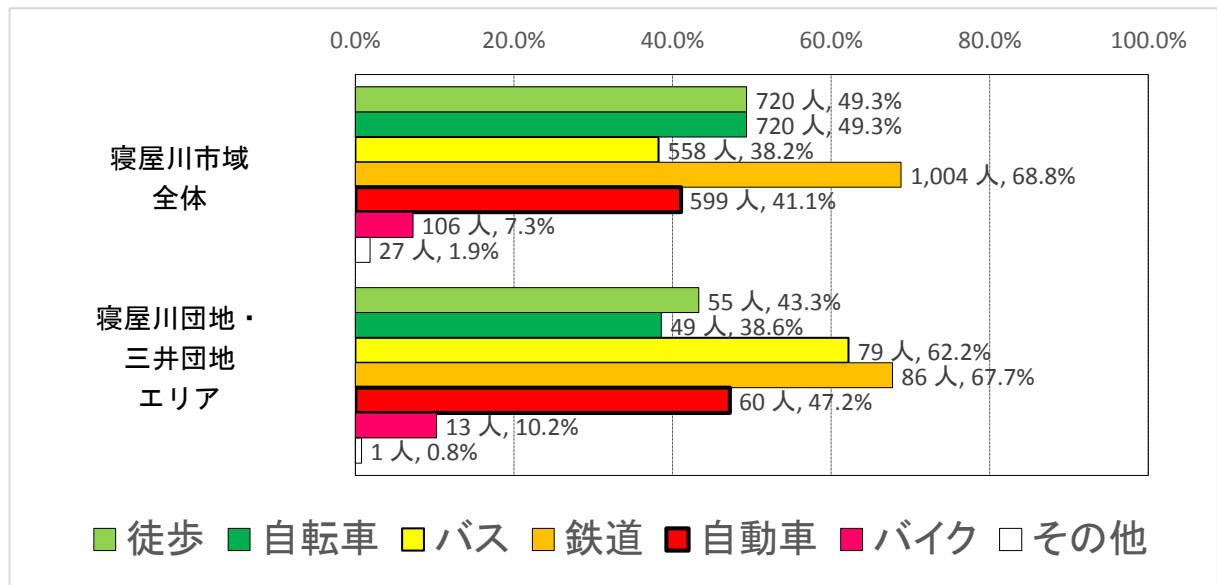


図 住民の方々の移動手段



<エリア内の利用施設と満足度>

- ・住まい周辺の医療施設の満足度の割合が比較的低くなっています。
- ・住まい周辺の商業施設等の満足度等の割合が比較的低くなっています。
- ・公共交通の利便性に対する不満が比較的高くなっています。

図 住まい周辺の医療施設の満足度

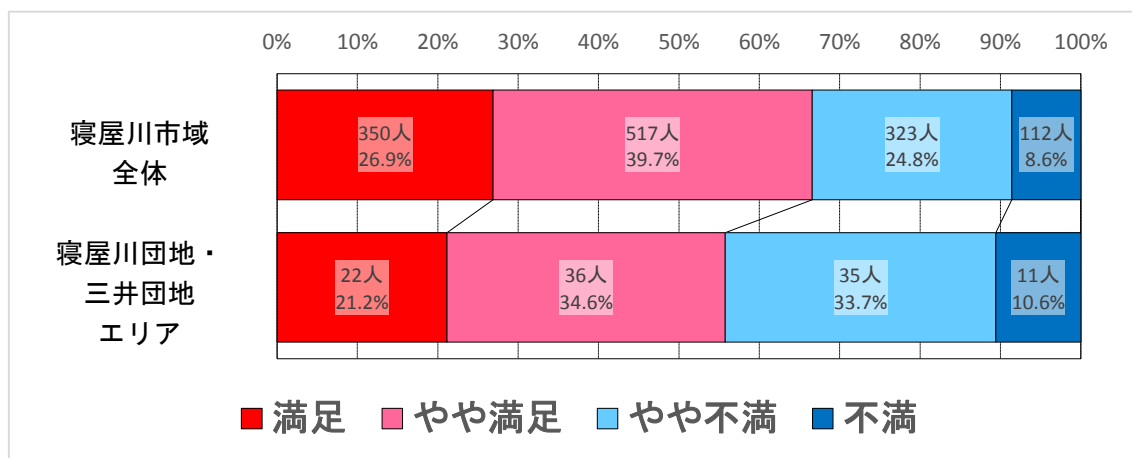


図 利用するスーパーマーケットの場所

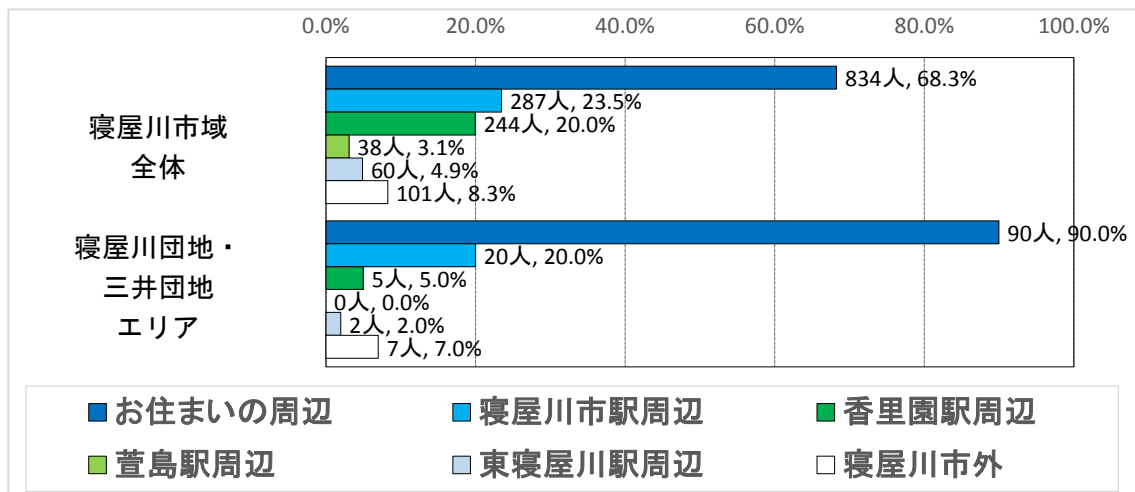


図 住まい周辺の商業施設に対する満足度

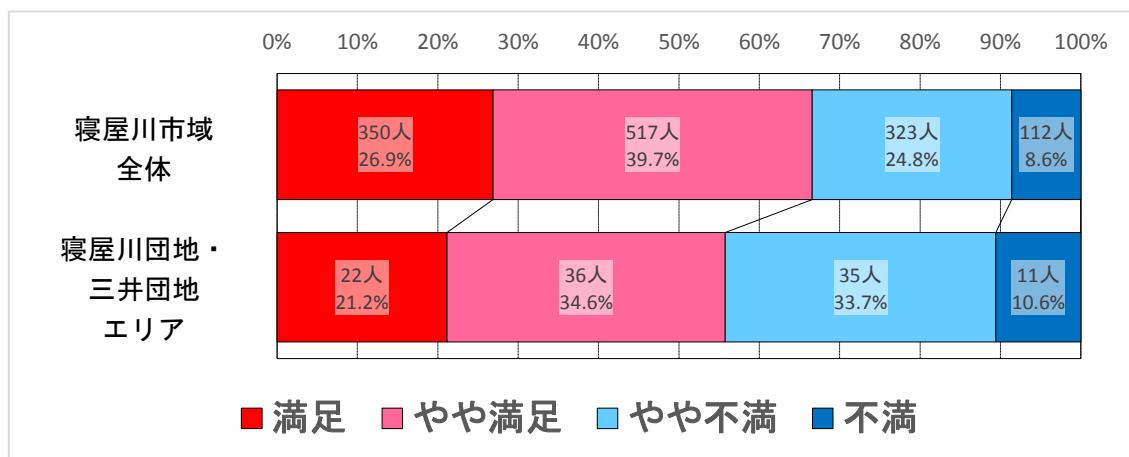
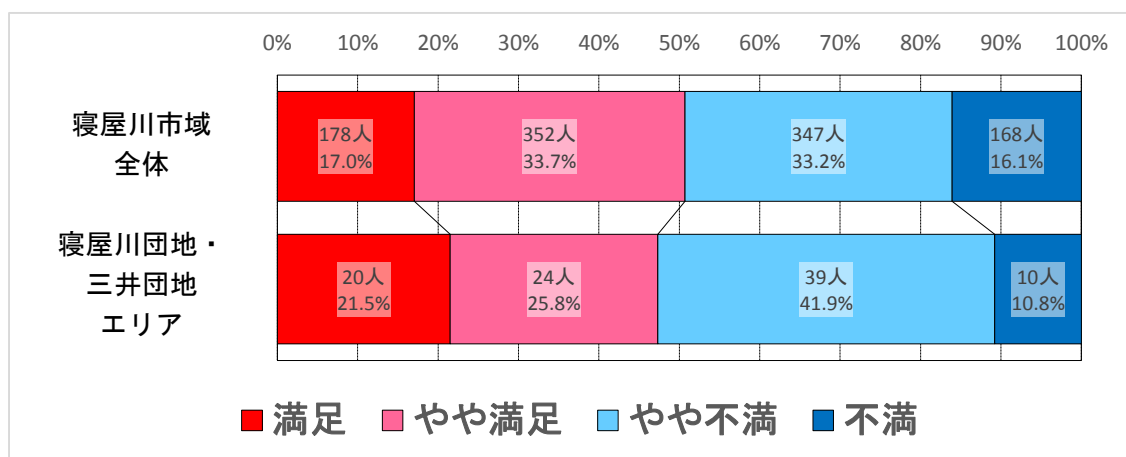
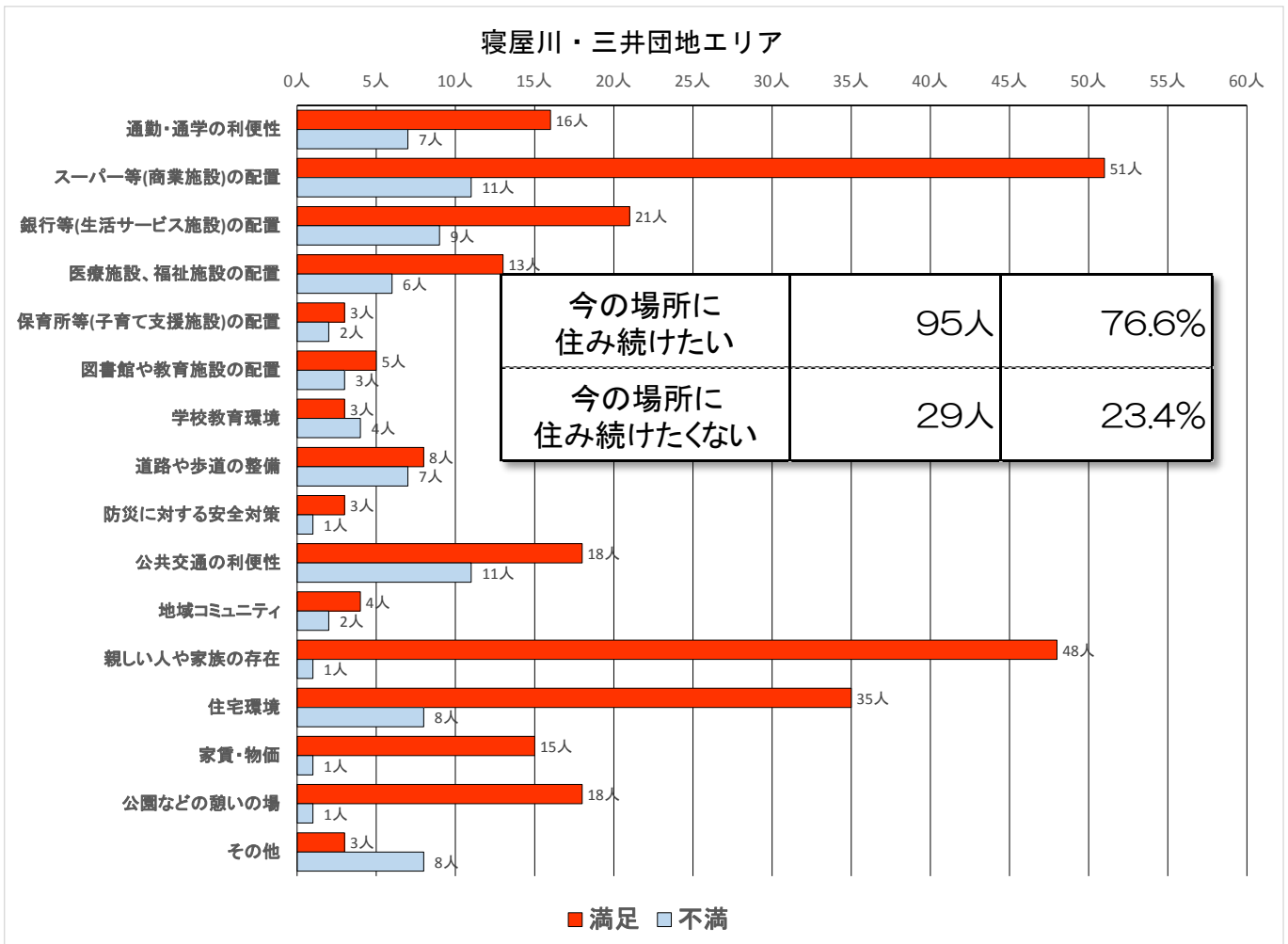


図 公共交通の利便性に対する満足度



＜エリア内の定住意向＞

- ・エリア内の定住意向は、住み続けたいと思う割合が、76.6%と市内平均と比べて低い割合となっています。
- ・住み続けたい理由として、「スーパー等(商業施設)」の配置に満足していることや、「親しい人や家族が身近にいる」、「住宅環境」などとなっています。
- ・住み続けたくない理由として、「スーパー等(商業施設)」などについては、不満の割合の中では比較的高い割合となっています。



【 寝屋川団地・三井団地エリアにおける考察 】

- ・寝屋川団地・三井団地エリアは、商業施設の配置、通勤・通学の利便性、公共交通の利便性、親しい人や家族の存在、住宅環境の満足度の割合が高いことから、住みよいエリアであることが伺えます。
- ・しかしながら、住まい周辺の医療施設に対する満足度が比較的低いことや、商業施設などの配置の不満の割合が比較的高いことから、団地内における施設の規模や必要とする機能が満たされていないものと推察されます。このため、必要となる機能を有する施設を誘導することなどが考えられます。